

あいち文化芸術振興計画

2022

年次報告書（平成 30（2018）年度）

2020 年 2 月



目 次

◆ 年次報告書について	1
◆ 平成 30（2018）年度の主な施策の実施状況	2
基本目標 1 世界・未来へ“愛知発”の創造・発信	2
基本目標 2 県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備	9
基本目標 3 愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上	15
◆ 数値目標の達成状況・評価	23
◆ まとめ	31
◆ 有識者意見	33

年次報告書について

県では、平成 30（2018）年 7 月に策定した「あいち文化芸術振興計画 2022」（以下、「プラン」という。）において、めざすべき姿として「～文化芸術の力で心豊かな県民生活と活力ある愛知を実現～」を掲げ、この実現に向け、3つの基本目標と9つの基本課題を設定し、文化芸術の振興に取り組んでいます。

このプランに基づく取組については、毎年度、事業成果の評価・検証を行い、PDCAサイクルによる進捗管理を実施し、その結果を公表することとしています。

本書は、平成 30（2018）年度の取組についての年次報告書です。

計画の体系図



平成 30（2018）年度の主な施策の実施状況

ここでは、「あいち文化芸術振興計画 2022」で掲げた主な施策について、平成 30（2018）年度の実施状況を報告します。

基本目標 1 世界・未来へ“愛知発”の創造・発信

基本課題	主な施策	事業数
1-1 世界に創造・発信する愛知からの文化芸術	① 国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の開催	7
	② 「あいち国際女性映画祭」の開催	
	③ 国際的なパートナーシップやネットワークの構築	
1-2 愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開	④ 愛知芸術文化センター	37
	⑤ 県美術館	
	⑥ 県芸術劇場	
	⑦ 県文化情報センター	
	⑧ 県図書館	
1-3 文化芸術を担う人材の育成	⑨ 県陶磁美術館	27
	⑩ 新進芸術家の活動発表・交流の場づくり	
	⑪ 世界へ躍進していくための環境づくり	
	⑫ 県立芸術大学における人材育成及び芸術の発信	
	⑬ アートマネジメントに関する人材の育成	
	⑭ 伝統的な芸能・工芸等を担う人材の育成	

■主な施策の実施状況

1-1 世界に創造・発信する愛知からの文化芸術

①国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の開催

・「あいちトリエンナーレ 2019」について、平成 30（2018）年 3 月 22 日に決定・公表した開催概要に基づき、国際現代美術展や音楽プログラム等各事業の開催準備を進めるとともに、トリエンナーレへの期待や開催機運を高めるため、広報 PR 活動を実施した。また、平成 31（2019）年 3 月 27 日に企画発表会を行い、79 組のアーティストが 27 の国・地域から参加することを公表した。

②「あいち国際女性映画祭」の開催

・平成 30（2018）年 9 月 5 日から 5 日間、ウィルあいち会場を始め 4 会場で、23 回目となる「あいち国際女性映画祭 2018」を開催し、15 カ国・地域から出品された計 32 作品の長編・短編映画を上映した。

③国際的なパートナーシップやネットワークの構築

・（公財）愛知県文化振興事業団では、平成 30（2018）年 9 月にニュージーランドのオークランド市で開催された「AAPPAC（アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟）」の定例会及び総会に出席し、海外の劇場関係者との情報交換や交流を図った。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績														
<p>①国際芸術祭「あいちトリエンナーレ」の開催 ・「あいちトリエンナーレ 2019」の企画概要の公表</p> 	<p>○現代美術</p> <table border="1"> <tr> <td>国際現代美術展</td> <td>国内外の 60 組程度のアーティスト・団体の作品を展示</td> </tr> <tr> <td>映像プログラム</td> <td>国内外の 10 組程度のアーティスト・団体の映像作品を上映</td> </tr> </table> <p>○舞台芸術</p> <table border="1"> <tr> <td>パフォーミングアーツ</td> <td>国内外の先鋭的な演劇などの作品を 10 演目程度上演</td> </tr> <tr> <td>音楽プログラム</td> <td>ロックやポップスなどのポピュラーミュージックを新たなプログラムとして加え、ライブパフォーマンスを通して、その魅力を伝える</td> </tr> </table> <p>○ラーニング</p> <table border="1"> <tr> <td>アート・プレイグラウンド</td> <td>来場者の鑑賞体験をより豊かにできるような環境づくりとして、「アート・プレイグラウンド」を複数会場にて展開</td> </tr> <tr> <td>アーティスト派遣事業</td> <td>参加アーティストが県内の学校に出向き、児童・生徒とともに、ダンボールを使った作品制作を探索</td> </tr> <tr> <td>学校向け団体鑑賞プログラム</td> <td>地域の児童・生徒に現代美術を楽しんでもらうため、ガイダンスや作品鑑賞ツアーなどを行う</td> </tr> </table>	国際現代美術展	国内外の 60 組程度のアーティスト・団体の作品を展示	映像プログラム	国内外の 10 組程度のアーティスト・団体の映像作品を上映	パフォーミングアーツ	国内外の先鋭的な演劇などの作品を 10 演目程度上演	音楽プログラム	ロックやポップスなどのポピュラーミュージックを新たなプログラムとして加え、ライブパフォーマンスを通して、その魅力を伝える	アート・プレイグラウンド	来場者の鑑賞体験をより豊かにできるような環境づくりとして、「アート・プレイグラウンド」を複数会場にて展開	アーティスト派遣事業	参加アーティストが県内の学校に出向き、児童・生徒とともに、ダンボールを使った作品制作を探索	学校向け団体鑑賞プログラム	地域の児童・生徒に現代美術を楽しんでもらうため、ガイダンスや作品鑑賞ツアーなどを行う
国際現代美術展	国内外の 60 組程度のアーティスト・団体の作品を展示														
映像プログラム	国内外の 10 組程度のアーティスト・団体の映像作品を上映														
パフォーミングアーツ	国内外の先鋭的な演劇などの作品を 10 演目程度上演														
音楽プログラム	ロックやポップスなどのポピュラーミュージックを新たなプログラムとして加え、ライブパフォーマンスを通して、その魅力を伝える														
アート・プレイグラウンド	来場者の鑑賞体験をより豊かにできるような環境づくりとして、「アート・プレイグラウンド」を複数会場にて展開														
アーティスト派遣事業	参加アーティストが県内の学校に出向き、児童・生徒とともに、ダンボールを使った作品制作を探索														
学校向け団体鑑賞プログラム	地域の児童・生徒に現代美術を楽しんでもらうため、ガイダンスや作品鑑賞ツアーなどを行う														
<p>② あいち国際女性映画祭 2018 の開催</p> 	<table border="1"> <tr> <td>期 間</td> <td>H30(2018). 9. 5(水)～ 9(日) 5日間</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>・ ウィルあいち ・ ミッドランドスクエアシネマ ・ アイプラザ半田 ・ 弥富市総合社会教育センター</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・ 招待作品上映 ・ トークイベント ・ フィルム・コンペティション ・ 名古屋難民支援室との共同企画</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>12,602 人</td> </tr> </table>	期 間	H30(2018). 9. 5(水)～ 9(日) 5日間	会 場	・ ウィルあいち ・ ミッドランドスクエアシネマ ・ アイプラザ半田 ・ 弥富市総合社会教育センター	主な内容	・ 招待作品上映 ・ トークイベント ・ フィルム・コンペティション ・ 名古屋難民支援室との共同企画	参加者	12,602 人						
期 間	H30(2018). 9. 5(水)～ 9(日) 5日間														
会 場	・ ウィルあいち ・ ミッドランドスクエアシネマ ・ アイプラザ半田 ・ 弥富市総合社会教育センター														
主な内容	・ 招待作品上映 ・ トークイベント ・ フィルム・コンペティション ・ 名古屋難民支援室との共同企画														
参加者	12,602 人														

■主な施策の実施状況

1-2 愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開

④愛知芸術文化センター

- ・ 本県の文化芸術施策を展開する拠点施設である愛知芸術文化センターを中心として、県芸術劇場、県図書館、県陶磁美術館において、多様な鑑賞機会や文化芸術活動の場所を提供することを通じ、利用者サービスの向上を図った。
- ・ 愛知芸術文化センターの栄施設において、平成 28 (2016) 年 11 月から実施していた大規模な改修工事を引き続き実施し、吊り天井の安全対策やトイレの洋式化、照明設備の LED 化といった安全かつ快適なセンター機能の維持を図った。
- ・ 愛知芸術文化センターの栄施設において、平成 26 (2014) 年度から導入している指定管理者制度について、平成 31 (2019) 年度からの第 2 期についても、第 1 期に引き続き(公財)愛知県文化振興事

業団を指定管理者として選定した。今後とも、国内有数の文化施設としてふさわしい自主事業の充実・強化、柔軟で弾力的な運営による利用者サービスの向上を図っていく。

⑤県美術館

- ・県美術館については、平成 30（2018）年度は改修工事に伴い年間を通じて閉館となったため、企画展及びコレクション展を開催することはできなかったが、映像事業、普及・教育事業、アウトリーチ活動事業等を実施し、多様な鑑賞機会の提供や芸術の創造・発信に努めた。
- ・県美術館では、約 8,000 件の所蔵作品についてデータベース（画像・詳細情報）を構築し、検索システムで一部を一般公開した。特に、著作権が消滅したパブリックドメイン作品の画像については、自由にダウンロードして利用できるよう、利用者サービスの向上を図った。
- ・非常に利用率の高い県美術館のギャラリーについては、改修工事が終了した平成 30（2018）年 11 月末から利用を再開し、地域の人々の団体展などに作品発表の場を提供した。

⑥県芸術劇場

- ・県芸術劇場では、改修工事に伴い大ホールは年間を通じて休館であったが、小ホール、平成 30（2018）年 11 月から再開したコンサートホールにおいて、（公財）愛知県文化振興事業団の自主事業をはじめ、質の高い音楽、舞台芸術公演を実施した。

⑧県図書館

- ・県図書館においては、1 階エントランスをリニューアルし（愛称「Yotteko（ヨッテコ）」）、開放的で明るい空間のもと、誰もが気軽に訪れることができる交流の場として、企画展示やセミナー、ワークショップ等を実施した。
- ・拠点図書館として効果的な資料収集を図るため、県図書館の「資料収集方針」を改正し、ものづくり文化資料や愛知の地域資料、健康・医療資料等地域の課題解決に資する資料を重点的に収集することとした。

⑨県陶磁美術館

- ・県陶磁美術館においては、開館 40 周年を記念して、陶磁器とお茶や生け花といった日本独自の文化が連携した体験型のイベントや、陶磁美術館の建物自体の魅力を発信するイベントを開催した。
- ・県陶磁美術館においては、県立芸術大学や県立大学との連携強化を図り、大学における講義の支援を行った。また、県内 20 の大学等との間で「愛知県陶磁美術館大学等パートナーシップ」事業を展開し、県陶磁美術館の利用促進を図るとともに、陶磁文化への理解を深めてもらえるよう努めた。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績								
④愛知芸術文化センター ・愛知芸術文化センター栄施設の第 2 期指定管理者の選定	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">施設の名称</td> <td>愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">指定管理者</td> <td>（公財）愛知県文化振興事業団（任意指定）</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">指定期間</td> <td>H31(2019)年4月～R6(2024)年3月</td> </tr> </table>	施設の名称	愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター	指定管理者	（公財）愛知県文化振興事業団（任意指定）	指定期間	H31(2019)年4月～R6(2024)年3月		
	施設の名称	愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター							
	指定管理者	（公財）愛知県文化振興事業団（任意指定）							
指定期間	H31(2019)年4月～R6(2024)年3月								
⑤県美術館 ・県美術館第 23 回アートフィルム・フェスティバルの実施	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">開催期間</td> <td>H30(2018).10.26、30～11.4</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">会場</td> <td>愛知芸術文化センター アートスペースA</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">主な内容</td> <td>「愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品」最新作として完成した、小森はるか『空に聞く』（2018 年）を初公開</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">入場者</td> <td>延べ691人</td> </tr> </table>	開催期間	H30(2018).10.26、30～11.4	会場	愛知芸術文化センター アートスペースA	主な内容	「愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品」最新作として完成した、小森はるか『空に聞く』（2018 年）を初公開	入場者	延べ691人
	開催期間	H30(2018).10.26、30～11.4							
	会場	愛知芸術文化センター アートスペースA							
	主な内容	「愛知芸術文化センター・愛知県美術館オリジナル映像作品」最新作として完成した、小森はるか『空に聞く』（2018 年）を初公開							
入場者	延べ691人								

取組内容	実績																														
<ul style="list-style-type: none"> 県美術館ギャラリー（A～Jの10室）の運営状況 	<table border="1"> <tr> <td>入場者数</td> <td>136,955人</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>93.2%</td> </tr> </table>	入場者数	136,955人	利用率	93.2%																										
入場者数	136,955人																														
利用率	93.2%																														
⑥県芸術劇場 <ul style="list-style-type: none"> 愛知県芸術劇場の利用状況 	<ul style="list-style-type: none"> 利用率 <table border="1"> <tr> <td>大ホール</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンサートホール</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>86.1%</td> </tr> </table> 入場者数 <table border="1"> <tr> <td>大ホール</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コンサートホール</td> <td>98,645人</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>33,602人</td> </tr> </table> <p>※大ホールは、改修工事に伴い休館 ※コンサートホールは、H30(2018).11.26から利用再開</p>	大ホール	—	コンサートホール	99.0%	小ホール	86.1%	大ホール	—	コンサートホール	98,645人	小ホール	33,602人																		
大ホール	—																														
コンサートホール	99.0%																														
小ホール	86.1%																														
大ホール	—																														
コンサートホール	98,645人																														
小ホール	33,602人																														
<ul style="list-style-type: none"> (公財)愛知県文化振興事業団による公演事業 	<p>「ファミリープログラム」「愛知芸文フェス」「ミニセレ」の3つの柱を軸に公演事業を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業数・公演数</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファミリープログラム</td> <td>8事業 15公演</td> <td>4,255人</td> </tr> <tr> <td>愛知芸文フェス</td> <td>9事業 19公演</td> <td>50,299人</td> </tr> <tr> <td>ミニセレ</td> <td>11事業 26公演 (うち再掲4事業 11公演)</td> <td>2,362人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業数・公演数	来場者数	ファミリープログラム	8事業 15公演	4,255人	愛知芸文フェス	9事業 19公演	50,299人	ミニセレ	11事業 26公演 (うち再掲4事業 11公演)	2,362人																		
区分	事業数・公演数	来場者数																													
ファミリープログラム	8事業 15公演	4,255人																													
愛知芸文フェス	9事業 19公演	50,299人																													
ミニセレ	11事業 26公演 (うち再掲4事業 11公演)	2,362人																													
⑦県文化情報センター <ul style="list-style-type: none"> 県文化情報センターの運営 	<ul style="list-style-type: none"> アートプラザにおける情報発信 <table border="1"> <tr> <td>入場者数</td> <td>174,002人</td> </tr> </table> アートスペース(会議室・展示室)の貸出 <table border="1"> <tr> <td>入場者数</td> <td>56,197人</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>60.9%</td> </tr> </table> アートライブラリーにおける芸術資料の収集、閲覧等 <table border="1"> <tr> <td>入場者数</td> <td>58,676人</td> </tr> <tr> <td>図書等の所蔵数</td> <td>142,015点</td> </tr> </table> 	入場者数	174,002人	入場者数	56,197人	利用率	60.9%	入場者数	58,676人	図書等の所蔵数	142,015点																				
入場者数	174,002人																														
入場者数	56,197人																														
利用率	60.9%																														
入場者数	58,676人																														
図書等の所蔵数	142,015点																														
⑧県図書館 <ul style="list-style-type: none"> 県図書館における1階エントランスYotteko(ヨッテコ)等を利用した自主企画事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 明治150年企画 明治元年から150年の年に当たることから実施 博物館明治村、徳川美術館等と連携した講演会を4回実施 参加者計：210人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018).6.2(土)</td> <td>明治150年と明治村</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018).8.4(土)</td> <td>徳川美術館の名刀探訪</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018).12.1(土)</td> <td>日本の瓦の歴史と三州瓦の発展</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019).1.26(土)</td> <td>愛知のやきもの-收藏品を語る-</td> <td>41人</td> </tr> </tbody> </table> リベラルアーツカフェ 新たな「知」の世界へと誘い、関連資料の利活用を促進するため、専門家を招いた講演会を4回実施 参加者計：199人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018).9.14(金)</td> <td>大規模災害 そのとき子どもたちの命を守るには?</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018).11.29(木)</td> <td>図書館で能と出会う</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018).12.4(火)</td> <td>近代愛知のものづくり事始め</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019).3.15(金)</td> <td>リトアニアとイスラエルから見た「命のガイダ」 杉原千畝研究の最先端</td> <td>65人</td> </tr> </tbody> </table> 	実施日	テーマ	参加者	H30(2018).6.2(土)	明治150年と明治村	82人	H30(2018).8.4(土)	徳川美術館の名刀探訪	62人	H30(2018).12.1(土)	日本の瓦の歴史と三州瓦の発展	25人	H31(2019).1.26(土)	愛知のやきもの-收藏品を語る-	41人	実施日	テーマ	参加者	H30(2018).9.14(金)	大規模災害 そのとき子どもたちの命を守るには?	33人	H30(2018).11.29(木)	図書館で能と出会う	68人	H30(2018).12.4(火)	近代愛知のものづくり事始め	33人	H31(2019).3.15(金)	リトアニアとイスラエルから見た「命のガイダ」 杉原千畝研究の最先端	65人
実施日	テーマ	参加者																													
H30(2018).6.2(土)	明治150年と明治村	82人																													
H30(2018).8.4(土)	徳川美術館の名刀探訪	62人																													
H30(2018).12.1(土)	日本の瓦の歴史と三州瓦の発展	25人																													
H31(2019).1.26(土)	愛知のやきもの-收藏品を語る-	41人																													
実施日	テーマ	参加者																													
H30(2018).9.14(金)	大規模災害 そのとき子どもたちの命を守るには?	33人																													
H30(2018).11.29(木)	図書館で能と出会う	68人																													
H30(2018).12.4(火)	近代愛知のものづくり事始め	33人																													
H31(2019).3.15(金)	リトアニアとイスラエルから見た「命のガイダ」 杉原千畝研究の最先端	65人																													



取組内容	実績																																
<p>⑨県陶磁美術館 ・企画展の開催</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別企画展「知られざる古代の名陶 猿投窯」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">会期・日数</td> <td>H30(2018). 6. 30(土) ～ 8. 26(日) 50 日間</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">出品 件数</td> <td>220 件</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">観覧者数</td> <td>5,370 人</td> </tr> </table> ・特別企画展「瀬戸-かく焼き繋ぎ 江戸時代の本業と新製」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">会期・日数</td> <td>H30(2018). 10. 27(土) ～12. 16(日) 44 日間</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">出品 件数</td> <td>135 件</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">観覧者数</td> <td>3,819 人</td> </tr> </table> ・企画展「瀬戸陶芸の黎明 -創作の源流を辿って-」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">会期・日数</td> <td>H30(2018). 4. 14(土) ～ 6. 17(日) 56 日間</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">出品 件数</td> <td>113 件</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">観覧者数</td> <td>5,124 人</td> </tr> </table> ・企画展「THE YUNOMI 湯のみ茶碗-ちよつと昔の、やきもの日本縦断旅」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">会期・日数</td> <td>H30(2018). 9. 1(土) ～10. 21(日) 44 日間</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">出品 件数</td> <td>280 件</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">観覧者数</td> <td>3,962 人</td> </tr> </table> ・企画展 「愛知県陶磁美術館の受贈外国陶磁コレクション選 共演！世界のやきもの」 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">会期・日数</td> <td>H31(2019). 1. 12(土) ～ 3. 24(日) 62 日間</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">出品 件数</td> <td>121 件</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">観覧者数</td> <td>4,026 人</td> </tr> </table> 	会期・日数	H30(2018). 6. 30(土) ～ 8. 26(日) 50 日間	出品 件数	220 件	観覧者数	5,370 人	会期・日数	H30(2018). 10. 27(土) ～12. 16(日) 44 日間	出品 件数	135 件	観覧者数	3,819 人	会期・日数	H30(2018). 4. 14(土) ～ 6. 17(日) 56 日間	出品 件数	113 件	観覧者数	5,124 人	会期・日数	H30(2018). 9. 1(土) ～10. 21(日) 44 日間	出品 件数	280 件	観覧者数	3,962 人	会期・日数	H31(2019). 1. 12(土) ～ 3. 24(日) 62 日間	出品 件数	121 件	観覧者数	4,026 人		
会期・日数	H30(2018). 6. 30(土) ～ 8. 26(日) 50 日間																																
出品 件数	220 件																																
観覧者数	5,370 人																																
会期・日数	H30(2018). 10. 27(土) ～12. 16(日) 44 日間																																
出品 件数	135 件																																
観覧者数	3,819 人																																
会期・日数	H30(2018). 4. 14(土) ～ 6. 17(日) 56 日間																																
出品 件数	113 件																																
観覧者数	5,124 人																																
会期・日数	H30(2018). 9. 1(土) ～10. 21(日) 44 日間																																
出品 件数	280 件																																
観覧者数	3,962 人																																
会期・日数	H31(2019). 1. 12(土) ～ 3. 24(日) 62 日間																																
出品 件数	121 件																																
観覧者数	4,026 人																																
<p>・開館 40 周年記念事業（連携・情報発信事業）の実施</p> 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f0ff;">事業区分</th> <th style="background-color: #e0f0ff;">実施日</th> <th style="background-color: #e0f0ff;">会場</th> <th style="background-color: #e0f0ff;">参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶摘みと茶会体験</td> <td>H30(2018). 5. 20(日)</td> <td>愛陶茶園</td> <td>134 人</td> </tr> <tr> <td>陶磁美術館の建物見学会</td> <td>H30(2018). 6. 2(土)</td> <td>本館及びその周辺</td> <td>58 人</td> </tr> <tr> <td>陶磁美術館の建物に関する特別講演会</td> <td>H30(2018). 7. 14(土)</td> <td>講堂</td> <td>200 人</td> </tr> <tr> <td>愛陶茶会</td> <td>H30(2018). 11. 3(日)</td> <td>講堂ホール前</td> <td>154 人</td> </tr> <tr> <td>生け花デモンストラーション</td> <td>H30(2018). 11. 10(土)</td> <td>本館ホール</td> <td>210 人</td> </tr> <tr> <td>講演会（対談）</td> <td>H30(2018). 11. 10(土)</td> <td>講堂</td> <td>184 人</td> </tr> <tr> <td>加藤清之氏によるギャラリートーク</td> <td>H30(2018). 11. 11(日)</td> <td>本館ホール</td> <td>32 人</td> </tr> </tbody> </table>	事業区分	実施日	会場	参加者	茶摘みと茶会体験	H30(2018). 5. 20(日)	愛陶茶園	134 人	陶磁美術館の建物見学会	H30(2018). 6. 2(土)	本館及びその周辺	58 人	陶磁美術館の建物に関する特別講演会	H30(2018). 7. 14(土)	講堂	200 人	愛陶茶会	H30(2018). 11. 3(日)	講堂ホール前	154 人	生け花デモンストラーション	H30(2018). 11. 10(土)	本館ホール	210 人	講演会（対談）	H30(2018). 11. 10(土)	講堂	184 人	加藤清之氏によるギャラリートーク	H30(2018). 11. 11(日)	本館ホール	32 人
事業区分	実施日	会場	参加者																														
茶摘みと茶会体験	H30(2018). 5. 20(日)	愛陶茶園	134 人																														
陶磁美術館の建物見学会	H30(2018). 6. 2(土)	本館及びその周辺	58 人																														
陶磁美術館の建物に関する特別講演会	H30(2018). 7. 14(土)	講堂	200 人																														
愛陶茶会	H30(2018). 11. 3(日)	講堂ホール前	154 人																														
生け花デモンストラーション	H30(2018). 11. 10(土)	本館ホール	210 人																														
講演会（対談）	H30(2018). 11. 10(土)	講堂	184 人																														
加藤清之氏によるギャラリートーク	H30(2018). 11. 11(日)	本館ホール	32 人																														

■主な施策の実施状況

1-3 文化芸術を担う人材の育成

⑩新進芸術家の活動発表・交流の場づくり

- ・将来、あいちトリエンナーレを始め、全国や世界を舞台に活躍する芸術家を輩出、育成することを目指し、「アーツ・チャレンジ2019」を開催した。
- ・現代アート等に関する情報発信拠点、地元芸術大学との連携拠点として愛知県庁大津橋分室に設置

した「アートラボあいち」を運営し、アートラボあいち自主企画展や県内にある三つの芸術系大学（県立芸術大学、名古屋造形大学、名古屋芸術大学）との連携による展覧会を開催した。

- ・独自の作風を持つ新人からベテランまで幅広いダンサーの作品を上演する機会を設けるとともに、ダンサー同士の交流の場を作りネットワークを構築する「ダンス・セレクション」及び関連イベント「踊る」「語る」「集う」を開催した。
- ・公募アーティストによる、既存の枠に捉われない音や身体を核とした、劇場で新しい可能性を探る実験的なライブ・パフォーマンス公演である「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2019」を開催した。

⑪世界へ躍進していくための環境づくり

- ・芸術文化の各分野において顕著な業績をおさめた者を表彰する「愛知県芸術文化選奨」を実施し、芸術文化の各分野において、その向上発展に貢献し、業績が顕著な方を「文化賞」として表彰するとともに、本県の芸術文化の向上に将来にわたって貢献することが期待できる者を「文化新人賞」として表彰した。

⑫県立芸術大学における人材育成及び芸術の発信

- ・県立芸術大学において、国内外の著名なアーティスト等の滞在型招へいにより、学生・教職員との交流を行う「アーティスト・イン・レジデンス事業」を実施し、世界に通用する芸術家の育成を図った。
- ・県立芸術大学において、芸術を必要としていながらホールや美術館に足を運ぶことが困難な方たちのもとへ芸術家が出向いてアートを届ける活動のうち、届け先を病院に絞った「病院アウトリーチプロジェクト」を実施し、音楽・美術の大学院生を対象に病院における良質な芸術活動に関わるアーティストの育成を図った。

⑬アートマネジメントに関する人材の育成

- ・（公財）愛知県文化振興事業団において、中部圏の舞台芸術の振興を図るとともに、地域における文化芸術活動を担う学生、劇場職員及びアーティスト等のスキルアップを目指し、「舞台芸術人材養成ラボ」を実施した。

⑭伝統的な芸能・工芸等を担う人材の育成

- ・愛知県教育委員会において、子供たちが地域に伝わる民俗芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちをもつため、民俗芸能保存団体と交流できる環境を整備し、鑑賞にとどまらず、体験・練習及び発表を組み合わせ、あいち文化遺産保存活用推進事業「伝統文化出張講座」を実施した。
- ・「文化活動事業費補助金」により、県に古くから伝承し、愛知の文化の特色となっている指定文化財等を保存伝承する目的で行う後継者育成事業を支援した。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績				
⑩新進芸術家の活動発表・交流の場づくり ・アーツ・チャレンジ2019の実施	・79 企画の応募があり、選考委員による選考の結果、8 企画を選考 <table border="1"> <tr> <td>展示期間</td> <td>H31(2019). 2.13 ~ 2.24</td> </tr> <tr> <td>展示場所</td> <td>愛知芸術文化センター</td> </tr> </table>	展示期間	H31(2019). 2.13 ~ 2.24	展示場所	愛知芸術文化センター
展示期間	H31(2019). 2.13 ~ 2.24				
展示場所	愛知芸術文化センター				
・「アートラボあいち」における展覧会、イベント等の実施	・県内にある3つの芸術系大学主催による展覧会やトリエンナーレスクール等、計18の企画を実施 <table border="1"> <tr> <td>来場者数</td> <td>3,616人</td> </tr> </table>	来場者数	3,616人		
来場者数	3,616人				

取組内容	実績																		
<ul style="list-style-type: none"> ダンス・セレクション&関連イベント「踊る」「語る」「集う」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ダンス・セレクション <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 10. 6(土) 10. 8(月・祝)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>258人</td> </tr> </tbody> </table> ダンス・セレクション関連イベント「踊る」「語る」「集う」 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 10. 5(金) ～10. 7(日)</td> <td>黄金 4422BLDG. 等</td> <td>151人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 10. 6(土) 10. 8(月・祝)	県芸術劇場小ホール	258人	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 10. 5(金) ～10. 7(日)	黄金 4422BLDG. 等	151人						
開催日	会場	参加者数																	
H30(2018). 10. 6(土) 10. 8(月・祝)	県芸術劇場小ホール	258人																	
開催日	会場	参加者数																	
H30(2018). 10. 5(金) ～10. 7(日)	黄金 4422BLDG. 等	151人																	
<ul style="list-style-type: none"> サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2019 の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 公募アーティスト: 大久保雅基、杉野晋平、dobby/仮説、ほか <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31(2019). 2. 9(土) 2. 11(月・祝)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>183人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H31(2019). 2. 9(土) 2. 11(月・祝)	県芸術劇場小ホール	183人												
開催日	会場	参加者数																	
H31(2019). 2. 9(土) 2. 11(月・祝)	県芸術劇場小ホール	183人																	
<p>⑪世界へ躍進していくための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化選奨の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「文化賞」として4名・1団体を表彰 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>受賞者</th> <th>分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小熊 ヒデジ</td> <td>演劇</td> </tr> <tr> <td>九代 長江 惣吉</td> <td>陶芸</td> </tr> <tr> <td>真島 直子</td> <td>現代美術</td> </tr> <tr> <td>米沢 唯</td> <td>バレエ</td> </tr> <tr> <td>蒲郡ジュニア吹奏楽団</td> <td>吹奏楽</td> </tr> </tbody> </table> 「文化新人賞」として1名を表彰 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>受賞者</th> <th>分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下向 拓生</td> <td>映画</td> </tr> </tbody> </table> 	受賞者	分野	小熊 ヒデジ	演劇	九代 長江 惣吉	陶芸	真島 直子	現代美術	米沢 唯	バレエ	蒲郡ジュニア吹奏楽団	吹奏楽	受賞者	分野	下向 拓生	映画		
受賞者	分野																		
小熊 ヒデジ	演劇																		
九代 長江 惣吉	陶芸																		
真島 直子	現代美術																		
米沢 唯	バレエ																		
蒲郡ジュニア吹奏楽団	吹奏楽																		
受賞者	分野																		
下向 拓生	映画																		
<p>⑫県立芸術大学における人材育成及び芸術の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> アーティスト・イン・レジデンス事業の実施 病院アウトリーチプロジェクトの実施 新デザイン棟の建設 	<ul style="list-style-type: none"> 美術分野2組3名、音楽分野2組2名の計4組5名を招へい 病院アウトリーチ実施先 藤田医科大学病院、あいち小児保健医療総合センター等 工期: H29(2017)年10月17日～ H31(2019)年1月15日 構造: 鉄筋コンクリート造3階建て 延床面積: 2,334.54平方メートル 																		
<p>⑬アートマネジメントに関する人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 舞台芸術人材養成ラボの実施 	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施事業名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践実習プログラム</td> <td>舞台芸術インターンシップ</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>職場体験プログラム</td> <td>①学生インターンシップ ②舞台芸術お仕事ナビ</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>技能習熟プログラム</td> <td>劇場職員セミナー</td> <td>延べ754人</td> </tr> <tr> <td>創造制作プログラム</td> <td>舞台芸術創造セミナー</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>普及啓発プログラム</td> <td>舞台芸術ワークショップ ファシリテーター&コーディネーター人材養成講座</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table>	実施事業名		参加者数	実践実習プログラム	舞台芸術インターンシップ	7人	職場体験プログラム	①学生インターンシップ ②舞台芸術お仕事ナビ	65人	技能習熟プログラム	劇場職員セミナー	延べ754人	創造制作プログラム	舞台芸術創造セミナー	82人	普及啓発プログラム	舞台芸術ワークショップ ファシリテーター&コーディネーター人材養成講座	26人
実施事業名		参加者数																	
実践実習プログラム	舞台芸術インターンシップ	7人																	
職場体験プログラム	①学生インターンシップ ②舞台芸術お仕事ナビ	65人																	
技能習熟プログラム	劇場職員セミナー	延べ754人																	
創造制作プログラム	舞台芸術創造セミナー	82人																	
普及啓発プログラム	舞台芸術ワークショップ ファシリテーター&コーディネーター人材養成講座	26人																	
<ul style="list-style-type: none"> 学芸員資格取得のための博物館実習生の受入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 陶磁美術館:6 大学6 人を受入れ 																		
<p>⑭伝統的な芸能・工芸等を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> あいち文化遺産保存活用推進事業「伝統文化出張講座」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校3校で実施 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>実施校</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊田市立道慈小学校</td> <td>H30(2018). 6</td> </tr> <tr> <td>刈谷市立亀城小学校</td> <td>}</td> </tr> <tr> <td>東浦町立生路小学校</td> <td>H31(2019). 1</td> </tr> </tbody> </table> 	実施校	実施時期	豊田市立道慈小学校	H30(2018). 6	刈谷市立亀城小学校	}	東浦町立生路小学校	H31(2019). 1										
実施校	実施時期																		
豊田市立道慈小学校	H30(2018). 6																		
刈谷市立亀城小学校	}																		
東浦町立生路小学校	H31(2019). 1																		
<ul style="list-style-type: none"> 文化活動事業費補助金(後継者育成事業)の交付 	<table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>5 団体</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>5 団体</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	5 団体	交付件数	5 団体														
申請件数	5 団体																		
交付件数	5 団体																		

基本目標 2 県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備

基本課題	主な施策	事業数
2-1 県民の鑑賞機会の充実	⑮ 文化芸術に関する施設の充実	14
	⑯ 鑑賞等の支援	
	⑰ アウトリーチ活動等による普及啓発、鑑賞機会の拡大	
	⑱ 所蔵作品の有効活用	
2-2 子どもの文化芸術活動の充実	⑲ 優れた文化芸術に触れる機会の提供	23
	⑳ 学校教育への支援・協力	
2-3 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実	㉑ 高齢者の文化芸術活動の充実	20
	㉒ 障害者の文化芸術活動の充実	
	㉓ 多言語での文化情報の提供等	

■主な施策の実施状況

2-1 県民の鑑賞機会の充実

⑮文化芸術に関する施設の充実

- ・県芸術劇場においては、各ホールに車椅子スペースを確保するとともに、大ホールにはおやこ室も配置した。また、視覚障害者や聴覚障害者の鑑賞支援に取り組むなど、県民の誰もが気軽に文化芸術を鑑賞できるよう配慮に努めた。

⑯鑑賞等の支援

- ・中部を代表するプロオーケストラ集団である「名古屋フィルハーモニー交響楽団」の優れた生演奏を、多くの県民が低料金で鑑賞することができるように支援した。
- ・県立芸術大学においては、県民が気軽に文化芸術を体験できるように、受講者と一体となって学ぶ「参加型」の講座である「愛知芸大芸術講座」を実施した。

⑰アウトリーチ活動等による普及啓発、鑑賞機会の拡大

- ・(公財)愛知県文化振興事業団においては、地域の文化施設等と協力しながら芸術の一端を体験してもらえるよう、市町村の劇場と連携してワークショップ等を実施した。
- ・県陶磁美術館においては、「県政お届け講座」や「ワークショップ(アウトリーチ)」、「愛知県児童総合センター連携実施プログラム」といった体験型の普及啓発活動を通じて、県民に美術の楽しみ方を伝えた。

⑱所蔵作品の有効活用

- ・県美術館、県陶磁美術館では、他の公共施設等で「サテライト展示」を実施するとともに、県内外における他の美術館等からの要請に応じて所蔵資料の貸出を行うなど、所蔵作品の有効活用を図った。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績			
⑮文化芸術に関する施設の充実 ・障害者の鑑賞支援	<視覚障害者向け>			
	・コンサート開演前の説明会			
	公演名	開催日	会場	参加者数
	バレンタイン・オルガンコンサート	H31(2019).2.8(金)	県芸術劇場コンサートホール	5人

取組内容	実績																																
	<ul style="list-style-type: none"> 点字プログラムの作成 <table border="1" data-bbox="759 277 1428 376"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バレンタイン・オルガンコンサート</td> <td>H31(2019).2.8(金)</td> <td>県芸術劇場コンサートホール</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <聴覚障害者向け> <ul style="list-style-type: none"> 赤外線補聴システムの使用 <table border="1" data-bbox="759 465 1428 564"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イスラエル・ガルバン『黄金時代』</td> <td>H30(2018).11.2(金) 3(土・祝)</td> <td>名古屋市芸術創造センター</td> <td>不明</td> </tr> </tbody> </table> 字幕設置 <table border="1" data-bbox="759 622 1428 721"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オペラ『バ스티アンとバスティエヌ』</td> <td>H30(2018).11.16(金) 17(土)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>不明</td> </tr> </tbody> </table> ポータブル字幕使用 <table border="1" data-bbox="759 779 1428 878"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>『シティⅢ』</td> <td>H30(2018).10.27(土)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> 	公演名	開催日	会場	利用者数	バレンタイン・オルガンコンサート	H31(2019).2.8(金)	県芸術劇場コンサートホール	10人	公演名	開催日	会場	利用者数	イスラエル・ガルバン『黄金時代』	H30(2018).11.2(金) 3(土・祝)	名古屋市芸術創造センター	不明	公演名	開催日	会場	利用者数	オペラ『バ스티アンとバスティエヌ』	H30(2018).11.16(金) 17(土)	県芸術劇場小ホール	不明	公演名	開催日	会場	利用者数	『シティⅢ』	H30(2018).10.27(土)	県芸術劇場小ホール	5人
公演名	開催日	会場	利用者数																														
バレンタイン・オルガンコンサート	H31(2019).2.8(金)	県芸術劇場コンサートホール	10人																														
公演名	開催日	会場	利用者数																														
イスラエル・ガルバン『黄金時代』	H30(2018).11.2(金) 3(土・祝)	名古屋市芸術創造センター	不明																														
公演名	開催日	会場	利用者数																														
オペラ『バ스티アンとバスティエヌ』	H30(2018).11.16(金) 17(土)	県芸術劇場小ホール	不明																														
公演名	開催日	会場	利用者数																														
『シティⅢ』	H30(2018).10.27(土)	県芸術劇場小ホール	5人																														
<p>⑩鑑賞等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋フィルハーモニー交響楽団への支援 	<table border="1" data-bbox="772 900 1228 1070"> <thead> <tr> <th>補助額</th> <th>補助対象事業</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">76,500千円</td> <td>定期演奏会</td> <td>27回</td> </tr> <tr> <td>巡回演奏会</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>移動音楽教室</td> <td>31回</td> </tr> </tbody> </table>	補助額	補助対象事業	実施回数	76,500千円	定期演奏会	27回	巡回演奏会	8回	移動音楽教室	31回																						
補助額	補助対象事業	実施回数																															
76,500千円	定期演奏会	27回																															
	巡回演奏会	8回																															
	移動音楽教室	31回																															
<ul style="list-style-type: none"> 愛知芸大芸術講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 県立芸術大学の教員を講師とした「レクチャーコンサート」、「ギャラリートーク」等を12講座開催 																																
<p>⑪アウトリーチ活動等による普及啓発、鑑賞機会の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> (公財)愛知県文化振興事業団によるワークショップの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ「赤ちゃんとおどろう」 <table border="1" data-bbox="772 1214 1428 1294"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018).11.25(日)</td> <td>半田市福祉文化会館</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> 0歳からの親子コンサート <table border="1" data-bbox="772 1348 1428 1429"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31(2019).1.19(土)</td> <td>長久手市文化の家</td> <td>101人</td> </tr> </tbody> </table> エンゲキ・カフェー声に出して読む演劇体験ー <table border="1" data-bbox="772 1482 1428 1608"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018).9.7(金)</td> <td>長久手市文化の家</td> <td rowspan="2">27人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018).9.8(土)</td> <td>一色町公民館横カフェいろわ</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018).11.25(日)	半田市福祉文化会館	13人	開催日	会場	参加者数	H31(2019).1.19(土)	長久手市文化の家	101人	開催日	会場	参加者数	H30(2018).9.7(金)	長久手市文化の家	27人	H30(2018).9.8(土)	一色町公民館横カフェいろわ												
開催日	会場	参加者数																															
H30(2018).11.25(日)	半田市福祉文化会館	13人																															
開催日	会場	参加者数																															
H31(2019).1.19(土)	長久手市文化の家	101人																															
開催日	会場	参加者数																															
H30(2018).9.7(金)	長久手市文化の家	27人																															
H30(2018).9.8(土)	一色町公民館横カフェいろわ																																
<ul style="list-style-type: none"> 県陶磁美術館におけるアウトリーチ活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 県政お届け講座 <table border="1" data-bbox="772 1684 1428 1765"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018).4.19(木)</td> <td>日本ガイシ(株)小牧事業所</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table> ワークショップ <table border="1" data-bbox="772 1818 1428 1989"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018).6.9(土)</td> <td>イオンモール長久手</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018).12.2(日)</td> <td>サンプラザシーズンズ</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>H31(2018).1.27(日)</td> <td>豊川市桜ヶ丘ミュージアム</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018).4.19(木)	日本ガイシ(株)小牧事業所	37人	開催日	会場	参加者数	H30(2018).6.9(土)	イオンモール長久手	60人	H30(2018).12.2(日)	サンプラザシーズンズ	35人	H31(2018).1.27(日)	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	9人														
開催日	会場	参加者数																															
H30(2018).4.19(木)	日本ガイシ(株)小牧事業所	37人																															
開催日	会場	参加者数																															
H30(2018).6.9(土)	イオンモール長久手	60人																															
H30(2018).12.2(日)	サンプラザシーズンズ	35人																															
H31(2018).1.27(日)	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	9人																															

取組内容	実績																																																			
	<ul style="list-style-type: none"> 学校派遣 <table border="1" data-bbox="772 293 1425 448"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 9. 25(火) H30(2018). 10. 26(金)</td> <td>豊田市立敷島小学校 豊田市立御作小学校 豊田市立梅坪小学校</td> <td>186人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 9. 25(火) H30(2018). 10. 26(金)	豊田市立敷島小学校 豊田市立御作小学校 豊田市立梅坪小学校	186人																																													
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 9. 25(火) H30(2018). 10. 26(金)	豊田市立敷島小学校 豊田市立御作小学校 豊田市立梅坪小学校	186人																																																		
<ul style="list-style-type: none"> 劇場と子ども7万人プロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 舞台芸術鑑賞教室『寿歌(ほぎうた)』 <table border="1" data-bbox="772 495 1425 660"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 6. 13(水) ～6. 15(金)</td> <td>パティオ池鯉鮒</td> <td>692人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 6. 21(木) ～6. 22(金)</td> <td>小牧市市民会館</td> <td>973人</td> </tr> </tbody> </table> 舞台芸術鑑賞教室『ありか』 <table border="1" data-bbox="772 707 1425 808"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 6. 26(火) ～6. 29(金)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>528人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 6. 13(水) ～6. 15(金)	パティオ池鯉鮒	692人	H30(2018). 6. 21(木) ～6. 22(金)	小牧市市民会館	973人	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 6. 26(火) ～6. 29(金)	県芸術劇場小ホール	528人																																				
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 6. 13(水) ～6. 15(金)	パティオ池鯉鮒	692人																																																		
H30(2018). 6. 21(木) ～6. 22(金)	小牧市市民会館	973人																																																		
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 6. 26(火) ～6. 29(金)	県芸術劇場小ホール	528人																																																		
<ul style="list-style-type: none"> 高校生をゲネプロに招待 	<ul style="list-style-type: none"> 地点『忘れる日本人』 <table border="1" data-bbox="772 864 1425 943"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 7. 12(木)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>23人</td> </tr> </tbody> </table> 『シティⅢ』 <table border="1" data-bbox="772 990 1425 1068"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 10. 25(木)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> オペラ『バスティアンとバスティエンヌ』 <table border="1" data-bbox="772 1115 1425 1193"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 11. 15(木)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 7. 12(木)	県芸術劇場小ホール	23人	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 10. 25(木)	県芸術劇場小ホール	27人	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 11. 15(木)	県芸術劇場小ホール	15人																																	
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 7. 12(木)	県芸術劇場小ホール	23人																																																		
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 10. 25(木)	県芸術劇場小ホール	27人																																																		
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 11. 15(木)	県芸術劇場小ホール	15人																																																		
<p>⑩学校教育への支援・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 県陶磁美術館におけるスクールプログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校出前講座 <table border="1" data-bbox="772 1245 1425 1641"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 10. 3(水)</td> <td>津島市立北小学校</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 11. 21(水)</td> <td>田原市立衣笠小学校</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 10. 11(木)</td> <td>名古屋市立城北小学校</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 11. 29(木)</td> <td>東浦町立緒川小学校</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019). 1. 23(水)</td> <td>名古屋市立上社小学校</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019). 1. 30(水)</td> <td>名古屋市立東山小学校</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019). 2. 6(水)</td> <td>名古屋市立平和が丘小学校</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019). 2. 14(木)</td> <td>名古屋市立当知小学校</td> <td>84人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019). 2. 20(水)</td> <td>名古屋市立赤星小学校</td> <td>92人</td> </tr> </tbody> </table> 中学生等職場体験 <table border="1" data-bbox="772 1688 1425 1854"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 8. 7(水)～8(水)</td> <td>県立瀬戸窯業高等学校</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 10. 16(火)～18(木)</td> <td>瀬戸市立水無瀬中学校</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>H31(2019). 1. 16(水)～17(木)</td> <td>聖霊中学校</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> 小中学校教員向け陶磁講座 <table border="1" data-bbox="772 1901 1425 2024"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加校数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 7. 25(水)</td> <td>8校</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 7. 26(木)</td> <td>10校</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> 	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 10. 3(水)	津島市立北小学校	43人	H30(2018). 11. 21(水)	田原市立衣笠小学校	60人	H30(2018). 10. 11(木)	名古屋市立城北小学校	91人	H30(2018). 11. 29(木)	東浦町立緒川小学校	86人	H31(2019). 1. 23(水)	名古屋市立上社小学校	90人	H31(2019). 1. 30(水)	名古屋市立東山小学校	181人	H31(2019). 2. 6(水)	名古屋市立平和が丘小学校	50人	H31(2019). 2. 14(木)	名古屋市立当知小学校	84人	H31(2019). 2. 20(水)	名古屋市立赤星小学校	92人	開催日	会場	参加者数	H30(2018). 8. 7(水)～8(水)	県立瀬戸窯業高等学校	6人	H30(2018). 10. 16(火)～18(木)	瀬戸市立水無瀬中学校	1人	H31(2019). 1. 16(水)～17(木)	聖霊中学校	2人	開催日	参加校数	参加者数	H30(2018). 7. 25(水)	8校	10人	H30(2018). 7. 26(木)	10校	12人
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 10. 3(水)	津島市立北小学校	43人																																																		
H30(2018). 11. 21(水)	田原市立衣笠小学校	60人																																																		
H30(2018). 10. 11(木)	名古屋市立城北小学校	91人																																																		
H30(2018). 11. 29(木)	東浦町立緒川小学校	86人																																																		
H31(2019). 1. 23(水)	名古屋市立上社小学校	90人																																																		
H31(2019). 1. 30(水)	名古屋市立東山小学校	181人																																																		
H31(2019). 2. 6(水)	名古屋市立平和が丘小学校	50人																																																		
H31(2019). 2. 14(木)	名古屋市立当知小学校	84人																																																		
H31(2019). 2. 20(水)	名古屋市立赤星小学校	92人																																																		
開催日	会場	参加者数																																																		
H30(2018). 8. 7(水)～8(水)	県立瀬戸窯業高等学校	6人																																																		
H30(2018). 10. 16(火)～18(木)	瀬戸市立水無瀬中学校	1人																																																		
H31(2019). 1. 16(水)～17(木)	聖霊中学校	2人																																																		
開催日	参加校数	参加者数																																																		
H30(2018). 7. 25(水)	8校	10人																																																		
H30(2018). 7. 26(木)	10校	12人																																																		

取組内容	実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・アートフェスター愛知県高等学校総合文化祭一の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場：刈谷市総合文化センター ・参加者数：5,295人 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f7fa;">部門</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>舞台部門・パネル部門</td> <td>H30(2018). 8. 18(土)、8. 19(日)</td> </tr> <tr> <td>文芸部門</td> <td>H30(2018). 8. 18(土)</td> </tr> <tr> <td>展示部門</td> <td>H30(2018). 8. 18(土)～8. 23(木)</td> </tr> </tbody> </table>	部門	開催日	舞台部門・パネル部門	H30(2018). 8. 18(土)、8. 19(日)	文芸部門	H30(2018). 8. 18(土)	展示部門	H30(2018). 8. 18(土)～8. 23(木)
部門	開催日								
舞台部門・パネル部門	H30(2018). 8. 18(土)、8. 19(日)								
文芸部門	H30(2018). 8. 18(土)								
展示部門	H30(2018). 8. 18(土)～8. 23(木)								

■主な施策の実施状況

2-3 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

①高齢者の文化芸術活動の充実

- ・高齢者に学習の機会を提供することにより、生きがいと健康づくりを図るとともに、地域の社会活動の中核となる人材を養成するため、「あいちシルバーカレッジ」を開講した。

②障害者の文化芸術活動の充実

- ・障害者の文化芸術活動を通して、障害者の社会参加と障害への理解促進を図るため、県内の障害のある方から寄せられた作品の展示をはじめ、コンサートやトークイベントなど、障害のある人のアートイベント「あいちアール・ブリュット障害者アーツ展」を開催した。

③多言語での文化情報の提供等

- ・愛知芸術文化センターにおいては、WEBページを6か国語（日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タイ語）で対応しており、また、県陶磁美術館においては、常設展のキャプションを4か国語（日本語、英語、中国語、韓国語）で記載するなど、多言語による文化情報の提供を図っている。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績												
①高齢者の文化芸術活動の充実 ・あいちシルバーカレッジの開講	<ul style="list-style-type: none"> ・定員を600名から630名に増員し、県内5会場で開校 <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">対象者</td> <td>県内在住で満60歳以上</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">修学年限</td> <td>1年(年30日間)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">受講者</td> <td>630名</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">卒業生</td> <td>620名</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	県内在住で満60歳以上	修学年限	1年(年30日間)	受講者	630名	卒業生	620名				
対象者	県内在住で満60歳以上												
修学年限	1年(年30日間)												
受講者	630名												
卒業生	620名												
②障害者の文化芸術活動の充実 ・あいちアール・ブリュット展の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・あいちアール・ブリュット障害者アーツ展 <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">開催期間</td> <td>H30(2018). 9. 20(木)～9. 24(月)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">開催場所</td> <td>名古屋市民ギャラリー矢田 名古屋市東文化小劇場</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">主な内容</td> <td>・作品展(670点) ・舞台・ステージ発表 ・トークイベント</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・あいちアール・ブリュット優秀作品特別展 <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">開催期間</td> <td>H31(2019). 3. 12(火)～3. 17(日)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">開催場所</td> <td>名古屋市民ギャラリー矢田</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">主な内容</td> <td>・優秀作品展(30点) ・表彰式、就職報告会</td> </tr> </tbody> </table>	開催期間	H30(2018). 9. 20(木)～9. 24(月)	開催場所	名古屋市民ギャラリー矢田 名古屋市東文化小劇場	主な内容	・作品展(670点) ・舞台・ステージ発表 ・トークイベント	開催期間	H31(2019). 3. 12(火)～3. 17(日)	開催場所	名古屋市民ギャラリー矢田	主な内容	・優秀作品展(30点) ・表彰式、就職報告会
開催期間	H30(2018). 9. 20(木)～9. 24(月)												
開催場所	名古屋市民ギャラリー矢田 名古屋市東文化小劇場												
主な内容	・作品展(670点) ・舞台・ステージ発表 ・トークイベント												
開催期間	H31(2019). 3. 12(火)～3. 17(日)												
開催場所	名古屋市民ギャラリー矢田												
主な内容	・優秀作品展(30点) ・表彰式、就職報告会												

基本目標3 愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上

基本課題	主な施策	事業数
3-1 愛知の文化資源を活かした地域力の向上	㉔ モノづくり文化を活かした地域力の向上	25
	㉕ アニメーション等を活かした地域力の向上	
	㉖ 生活文化の振興	
	㉗ 地域の文化資源の情報発信	
	㉘ 文化資源等を活かした活動への支援	
3-2 伝統芸能や文化財等の継承と発展	㉙ 伝統芸能等の継承と発展	11
	㉚ 文化財等の継承と発展	
3-3 様々な分野や主体との連携・協働の推進	㉛ 様々な分野との連携	72
	㉜ 市町村との連携	
	㉝ 文化芸術団体等との連携	
	㉞ 民間事業者等との連携	
	㉟ 芸術系大学等との連携	
	㊱ 文化施設間の連携	
	㊲ ボランティア活動の促進	

■主な施策の実施状況

3-1 愛知の文化資源を活かした地域力の向上

㉔モノづくり文化を活かした地域力の向上

- ・地域の歴史と生活文化に根ざした貴重な財産である伝統的工芸品等の普及を図るため、PRパンフレットを作成するとともに、展示会等の開催を支援した。また、伝統的工芸品産業を振興するため、県内の伝統的工芸品産地で活躍し、顕著な功績を収めた個人を表彰した。
- ・愛知・岐阜広域観光推進協議会において、伝統工芸を始めとする「産業観光施設」、城・城跡を始めとする「武将観光施設」を紹介するパンフレット「見にトリップ/いくさトリップ」を作成するとともに、掲載施設を巡るスタンプラリー等を開催し、観光振興を図った。

㉕アニメーション等を活かした地域力の向上

- ・アニメ、漫画、ゲーム、コスプレといった「ポップカルチャー」を観光資源としてとらえ、誘客の拡大、観光振興を図るため、「あいちポップカルチャーフェスティバル2018改」を開催した。

㉖生活文化の振興

- ・「愛知県文化活動事業費補助金」により、茶道、華道、書道などの伝統的な生活文化の普及を図るため、県内で活動する団体が、広く県民一般を対象として発表・展示を行う事業を支援した。
- ・「なごやめし普及促進協議会」の活動を支援し、イベントへの出展等を通じて、愛知・名古屋における特徴的な食文化である「なごやめし」の普及促進を図った。

㉗地域の文化資源の情報発信

- ・文化財の普及・啓発を図るため、「文化財ナビ愛知」をインターネット上で開設し、県内に所在する国・県指定および国登録文化財を解説付きの図録型式で情報発信した。
- ・県図書館に「東三河コーナー」を設置し、名古屋における東三河8市町村の情報発信の拠点として維持管理した。

⑳文化資源等を活かした活動への支援

- 文化庁や(一財)地域創造、(一財)自治総合センター等の公的機関による助成制度について、情報を幅広く収集・整理し、助成の対象となる市町村等に情報提供を行うとともに、助成申請等に関する相談やアドバイスを行った。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績																						
<p>㉔モノづくり文化を活かした地域力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統的工芸品等の産業振興 	<ul style="list-style-type: none"> 「あいちの伝統的工芸品」PRパンフレットの作成 伝統的工芸品産業功労者等表彰の実施 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受賞者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	受賞者数	愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰	7名	愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰	7名																
区分	受賞者数																						
愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰	7名																						
愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰	7名																						
<p>㉕アニメーション等を活かした地域力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あいちポップカルチャーフェスティバル 2018 改」の開催 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018). 12. 9(日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>愛・地球博記念公園地球市民交流センター及び体育館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>7,000人(推計)</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	H30(2018). 12. 9(日)	開催場所	愛・地球博記念公園地球市民交流センター及び体育館	来場者数	7,000人(推計)																
開催日	H30(2018). 12. 9(日)																						
開催場所	愛・地球博記念公園地球市民交流センター及び体育館																						
来場者数	7,000人(推計)																						
<p>㉖生活文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化活動事業費補助金(企画提案事業及び文化芸術すそ野づくり事業)の交付 	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>申請期間</td> <td>H30(2018). 4. 24(火)～6. 8(金)</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>98団体</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>74団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※うち、分野別で「生活文化」に対する補助</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>4団体</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>3団体</td> </tr> </tbody> </table>	申請期間	H30(2018). 4. 24(火)～6. 8(金)	申請件数	98団体	交付件数	74団体	申請件数	4団体	交付件数	3団体												
申請期間	H30(2018). 4. 24(火)～6. 8(金)																						
申請件数	98団体																						
交付件数	74団体																						
申請件数	4団体																						
交付件数	3団体																						
<ul style="list-style-type: none"> 「なごやめし」の普及促進 	<p>「なごやめし普及促進協議会」による、PR・プロモーション活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントへの出展 多言語リーフレットの作成 PRグッズの作成 																						
<p>㉘文化資源等を活かした活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化振興基金、(一財)地域創造及び(一財)自治総合センターへの助成申請等に関する相談・アドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> 芸術文化振興基金助成事業 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件</td> <td>7件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> (一財)地域創造 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の文化・芸術活動助成事業</td> <td>9件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>地域伝統芸能等保存事業</td> <td>3件</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> (一財)自治総合センター <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宝くじ文化公演事業</td> <td>5件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ助成事業</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	採択件数	10件	7件	事業名	申請件数	採択件数	地域の文化・芸術活動助成事業	9件	9件	地域伝統芸能等保存事業	3件	3件	事業名	申請件数	採択件数	宝くじ文化公演事業	5件	2件	コミュニティ助成事業	1件	1件
申請件数	採択件数																						
10件	7件																						
事業名	申請件数	採択件数																					
地域の文化・芸術活動助成事業	9件	9件																					
地域伝統芸能等保存事業	3件	3件																					
事業名	申請件数	採択件数																					
宝くじ文化公演事業	5件	2件																					
コミュニティ助成事業	1件	1件																					

■主な施策の実施状況

3-2 伝統芸能や文化財等の継承と発展

㉙伝統芸能等の継承と発展

- 県内及び日本全国・海外の地域伝統芸能団体の公演及び表彰を行う「地域伝統芸能全国大会」を開催し、本県の伝統文化を全国に紹介するとともに、愛知・名古屋への観光誘客を図った。

- ・指定・未指定を問わず県内に伝承されている無形民俗文化財等の保存・伝承を図るとともに、その鑑賞を通して民俗芸能をはじめとした伝統文化に対する理解と認識を深めるため、「愛知県民俗芸能大会」を開催した。
- ・「あいち山車まつり日本一協議会」の活動を支援し、研修会や公開イベント、シンポジウム等の開催を通じ、愛知の山車文化を県内外へ広く発信した。

⑩文化財等の継承と発展

- ・県内に所在する国・県指定文化財を適切に後世に伝えるため、「文化財保存修理費補助金」により、文化財の所有者または管理者が行った保存修理等事業に対して助成した。
- ・文化財の適切な保護のために、「文化財保護指導委員」を設置し、文化財の巡視や文化財所有者その他関係者に対する指導及び助言を行うとともに、文化財保護思想の普及啓発に努めた。
- ・国指定の重要文化財である愛知県庁本庁舎の観光資源化を目指し、「愛知県庁本庁舎公開イベント」を実施した。
- ・東海地方最大の弥生集落である朝日遺跡の魅力を発信する「清洲貝殻山貝塚資料館」の拡充整備については、2020年秋のオープンを目指し、新資料館の建設工事、展示物の製作、史跡の整備を進めた。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績								
㉑伝統芸能等の継承と発展 ・「地域伝統芸能全国大会」の開催	<table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018).11. 3(土)～4(日)</td> </tr> <tr> <td>メイン会場</td> <td>日本特殊陶業市民会館</td> </tr> <tr> <td>サブ会場</td> <td>ドルフィンズアリーナ東側広場及び第2競技場</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>約 25,500 人</td> </tr> </table>	開催日	H30(2018).11. 3(土)～4(日)	メイン会場	日本特殊陶業市民会館	サブ会場	ドルフィンズアリーナ東側広場及び第2競技場	来場者数	約 25,500 人
開催日	H30(2018).11. 3(土)～4(日)								
メイン会場	日本特殊陶業市民会館								
サブ会場	ドルフィンズアリーナ東側広場及び第2競技場								
来場者数	約 25,500 人								
・「愛知県民俗芸能大会」の開催 	<table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018). 9. 23 (日・祝)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>清洲市民センター</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>340 人</td> </tr> </table> <p>【出演団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えんちょこ獅子保存会(高浜市) ・知立山車文楽保存会 中新町人形連(知立市) ・間屋町山車保存会(清須市) ・長久手市棒の手保存会(長久手市) ・豊山木遣保存会(豊山町) ・愛知・半田・板山万歳保存会(半田市) 	開催日	H30(2018). 9. 23 (日・祝)	会場	清洲市民センター	来場者数	340 人		
開催日	H30(2018). 9. 23 (日・祝)								
会場	清洲市民センター								
来場者数	340 人								
⑩文化財等の継承と発展 ・「文化財保存修理費補助金」の交付	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定文化財保存修理費補助金</td> <td>13 件</td> </tr> <tr> <td>県指定文化財保存修理費補助金</td> <td>16 件</td> </tr> <tr> <td>国指定文化財管理費補助金</td> <td>37 件</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	対象	国指定文化財保存修理費補助金	13 件	県指定文化財保存修理費補助金	16 件	国指定文化財管理費補助金	37 件
事業名	対象								
国指定文化財保存修理費補助金	13 件								
県指定文化財保存修理費補助金	16 件								
国指定文化財管理費補助金	37 件								
・「文化財保護指導委員」の設置	県内の7地区(尾張・海部・知多・西三河・東三河・新城・設楽)に計58名を設置								

取組内容	実績						
<p>・「愛知県庁本庁舎公開イベント」の実施</p> 	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">実施日</td> <td>H30(2018).11. 3 (土・祝)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">来場者数</td> <td>4,376人</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">主な内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎見学（講堂・知事室・貴賓室・正庁等） ・正面玄関ステージイベント ・講堂コンサート ・屋上カフェ </td> </tr> </table>	実施日	H30(2018).11. 3 (土・祝)	来場者数	4,376人	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎見学（講堂・知事室・貴賓室・正庁等） ・正面玄関ステージイベント ・講堂コンサート ・屋上カフェ
実施日	H30(2018).11. 3 (土・祝)						
来場者数	4,376人						
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎見学（講堂・知事室・貴賓室・正庁等） ・正面玄関ステージイベント ・講堂コンサート ・屋上カフェ 						

■主な施策の実施状況

3-3 様々な分野や主体との連携・協働の推進

①様々な分野との連携

- ・「武将のふるさと愛知」として、「武将観光」を推進するため、「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2018」を開催し、国内外からの観光客の誘致を図り、地域の活性化につなげた。
- ・県や市町村、大学等高等教育機関などの生涯学習機関・団体等有する生涯学習に関する情報を一元的に提供する生涯学習情報システム「学びネットあいち」を運営し、県民の高度かつ多様化する学習ニーズに対応する情報提供を行った。
- ・「あいち中小企業応援ファンド助成事業」により、中小企業者等が行う地域産業資源等を活用した新商品開発、販路拡大などの新事業展開を支援した。
- ・「愛知の住みやすさ発信事業」により、愛知への人口流入・定着を促進するため、他の大都市圏と比べた本県の強みである「住みやすさ」を県内外に広くPRした。
- ・本県と江蘇省との友好交流及び日中の文化交流を促進するため、日本人と中国人双方の書道作品を展示する「愛知県・江蘇省友好書道展」を開催した。
- ・持続可能な社会の実現のため、中部地域の国際交流・国際協力・多文化共生の活動を広げ、市民、NGO・NPO、企業が協力して「学び、考え、行動する場」をつくりあげingことを目的に、「ワールド・コラボ・フェスタ 2018」を開催した。
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、文化を通じた機運醸成を図るため、「beyond2020 プログラム」の認証を推進し、本県の地域性豊かで多様性に富んだ文化活動の魅力を発信した。
- ・「文化芸術連携推進事業」により、新たに制定した「愛知県文化芸術振興条例」の普及・啓発を目的としたシンポジウムを開催するとともに、愛知の多様な文化資源を活用し、関係団体と連携したワークショップを実施した。

②市町村との連携

- ・県内市町村の文化行政担当者、文化施設職員等担当者の企画制作能力や広報・アートマネジメント力などの資質向上をめざすとともに、県と市あるいは市町村相互のネットワーク促進を図り、地域の文化力の向上と文化行政の活性化を図るため、「文化行政ネットワーク会議」を開催した。

③文化芸術団体等との連携

- ・「あいちトリエンナーレ 2019」において、地元の文化芸術団体等と連携して行う「舞台芸術公募プログラム」について、選考委員会による選考により公演団体等を決定した。
- ・「あいちトリエンナーレ地域展開事業」における地元文化団体活用事業として、次代を担う子どもたちの音楽への理解と関心を高めるため、名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏会及びワーク

ショップを実施した。

③⑤芸術系大学等との連携

- ・(公財)愛知県文化振興事業団と愛知県立芸術大学との共催により、東海地方唯一の公立芸術大学管弦楽団である「愛知県立芸術大学管弦楽団」の定期演奏会や、オペラ『バスティアンとバスティエヌ』関連講座『「バスティアンとバスティエヌ」を楽しむ』を、愛知芸術文化センターで開催した。

③⑥文化施設間の連携

- ・愛知県美術館と愛知県図書館との共同企画として、愛知県図書館 1 階エントランス Y o t t e k o (ヨッテコ) において、愛知県美術館学芸員による連続講座「美術と文学」を年間 4 回開催した。
- ・(公財)愛知県文化振興事業団が主催するファミリープログラムの一環として、市町村劇場との連携のもと、『小さな島とエヴァ』県内巡回公演を実施した。
- ・(公財)愛知県文化振興事業団と静岡県舞台芸術センターが、平成 29 (2017) 年度に共同企画により制作した現代演劇『寿歌 (ほぎうた)』を、文化施設間の連携により巡回公演した。
- ・(公財)愛知県文化振興事業団については、全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修や研究会を開催した。

③⑦ボランティア活動の促進

- ・「あいちトリエンナーレ 2019」の開催に向けて、愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか、豊田市内の各会場で、展示作品の看視や会場案内の補助、ガイドツアーなどの活動をしてもらうボランティアを募集した。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績														
③①様々な分野との連携 ・「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2018」の開催	<table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018).11.18(日)</td> </tr> <tr> <td>メイン会場</td> <td>県営都市公園大高緑地</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>37,000人</td> </tr> </table>	開催日	H30(2018).11.18(日)	メイン会場	県営都市公園大高緑地	来場者数	37,000人								
開催日	H30(2018).11.18(日)														
メイン会場	県営都市公園大高緑地														
来場者数	37,000人														
・「あいち中小企業応援ファンド助成事業」による支援	<table border="1"> <tr> <td>申請件数</td> <td>採択件数</td> </tr> <tr> <td>77件</td> <td>48件</td> </tr> </table>	申請件数	採択件数	77件	48件										
申請件数	採択件数														
77件	48件														
・「愛知の住みやすさ発信事業」によるPR	<ul style="list-style-type: none"> ・Instagram及びtwitterを活用したフォトコンテストの開催 ・学生向け民間情報サイト、若年女性向け民間情報サイトへの広告記事掲載 ・東京圏在住若年女性を対象とした懇談会の開催 														
・「愛知県・江蘇省友好書道展」〈愛知県展〉の開催 	<table border="1"> <tr> <td>期 間</td> <td>H30(2018).6.19(火)～24(日)</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>電気文化会館西ギャラリー</td> </tr> <tr> <td>展示作品</td> <td>60点(県内で活動する書道家の作品等)</td> </tr> <tr> <td>【日本側】</td> <td>60点(小中学生の作品)※応募1,365点</td> </tr> <tr> <td>展示作品</td> <td>60点(江蘇省を中心とする書道家の作品)</td> </tr> <tr> <td>【中国側】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>2,014人</td> </tr> </table>	期 間	H30(2018).6.19(火)～24(日)	会 場	電気文化会館西ギャラリー	展示作品	60点(県内で活動する書道家の作品等)	【日本側】	60点(小中学生の作品)※応募1,365点	展示作品	60点(江蘇省を中心とする書道家の作品)	【中国側】		入場者数	2,014人
期 間	H30(2018).6.19(火)～24(日)														
会 場	電気文化会館西ギャラリー														
展示作品	60点(県内で活動する書道家の作品等)														
【日本側】	60点(小中学生の作品)※応募1,365点														
展示作品	60点(江蘇省を中心とする書道家の作品)														
【中国側】															
入場者数	2,014人														

取組内容	実績																
<p>・「ワールド・コラボ・フェスタ 2018」の開催</p> 	<table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018).11.10(土)、11(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>オアシス 21「銀河の広場」</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・ワールドステージ(世界各国の歌や踊り、楽器演奏等のパフォーマンス) ・ブース出展</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>約 60,000 人</td> </tr> </table>	開催日	H30(2018).11.10(土)、11(日)	会場	オアシス 21「銀河の広場」	主な内容	・ワールドステージ(世界各国の歌や踊り、楽器演奏等のパフォーマンス) ・ブース出展	来場者数	約 60,000 人								
開催日	H30(2018).11.10(土)、11(日)																
会場	オアシス 21「銀河の広場」																
主な内容	・ワールドステージ(世界各国の歌や踊り、楽器演奏等のパフォーマンス) ・ブース出展																
来場者数	約 60,000 人																
<p>・「beyond2020 プログラム」の認証推進</p> 	<table border="1"> <tr> <td>H29(2017)年度認証件数</td> <td>31 件</td> <td rowspan="3">※全国の認証件数 約 10,000 件</td> </tr> <tr> <td>H30(2018)年度認証件数</td> <td>269 件</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>300 件</td> </tr> </table>	H29(2017)年度認証件数	31 件	※全国の認証件数 約 10,000 件	H30(2018)年度認証件数	269 件	累計	300 件									
H29(2017)年度認証件数	31 件	※全国の認証件数 約 10,000 件															
H30(2018)年度認証件数	269 件																
累計	300 件																
<p>・「文化芸術連携推進事業」の実施</p> 	<p>・「文化芸術フェスタあいち」</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018). 6.30(土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>書道家武田双雲氏による公演等</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>206 名</td> </tr> </table> <p>・文化芸術ワークショップの開催</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期</td> <td>H30(2018). 7 ~ H31(2019). 3</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>新城市、名古屋市緑区等</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>441 名</td> </tr> </table>	開催日	H30(2018). 6.30(土)	会場	県芸術劇場小ホール	主な内容	書道家武田双雲氏による公演等	来場者数	206 名	実施時期	H30(2018). 7 ~ H31(2019). 3	実施場所	新城市、名古屋市緑区等	参加者	441 名		
開催日	H30(2018). 6.30(土)																
会場	県芸術劇場小ホール																
主な内容	書道家武田双雲氏による公演等																
来場者数	206 名																
実施時期	H30(2018). 7 ~ H31(2019). 3																
実施場所	新城市、名古屋市緑区等																
参加者	441 名																
<p>⑫市町村との連携</p> <p>・「文化行政ネットワーク会議」の開催</p>	<p>・第 1 回</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H30(2018).10.29(月)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知県産業労働センター</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>「あいち文化芸術振興計画 2022」策定に関する片山泰輔氏の講演等</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>39 名</td> </tr> </table> <p>・第 2 回</p> <table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>H31(2019). 1.16(水)~18(金)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知芸術文化センター</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>劇場職員セミナーと共同開催</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>34 名(市町村文化行政担当者)</td> </tr> </table>	開催日	H30(2018).10.29(月)	会場	愛知県産業労働センター	主な内容	「あいち文化芸術振興計画 2022」策定に関する片山泰輔氏の講演等	参加者	39 名	開催日	H31(2019). 1.16(水)~18(金)	会場	愛知芸術文化センター	主な内容	劇場職員セミナーと共同開催	参加者	34 名(市町村文化行政担当者)
開催日	H30(2018).10.29(月)																
会場	愛知県産業労働センター																
主な内容	「あいち文化芸術振興計画 2022」策定に関する片山泰輔氏の講演等																
参加者	39 名																
開催日	H31(2019). 1.16(水)~18(金)																
会場	愛知芸術文化センター																
主な内容	劇場職員セミナーと共同開催																
参加者	34 名(市町村文化行政担当者)																
<p>⑬文化芸術団体等との連携</p> <p>・あいちトリエンナーレ 2019「舞台芸術公募プログラム」の決定</p>	<table border="1"> <tr> <td>募集期間</td> <td>H30(2018). 4. 9(月)~ 7. 6(金)</td> </tr> <tr> <td>応募数</td> <td>27 団体・個人</td> </tr> <tr> <td>採用数</td> <td>15 団体・個人</td> </tr> </table>	募集期間	H30(2018). 4. 9(月)~ 7. 6(金)	応募数	27 団体・個人	採用数	15 団体・個人										
募集期間	H30(2018). 4. 9(月)~ 7. 6(金)																
応募数	27 団体・個人																
採用数	15 団体・個人																

取組内容	実績																								
<p>・「あいちトリエンナーレ地域展開事業」における地元文化団体活用事業</p> 	<p>・名古屋フィルハーモニー交響楽団によるワークショップ</p> <table border="1"> <tr><td>実施日</td><td>H31(2019). 2. 11 (月・祝)</td></tr> <tr><td>会場</td><td>瀬戸市文化センター</td></tr> <tr><td>参加者</td><td>46人</td></tr> </table> <p>・名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏会</p> <table border="1"> <tr><td>実施日</td><td>H31(2019). 2. 17 (日)</td></tr> <tr><td>会場</td><td>瀬戸市文化センター</td></tr> <tr><td>来場者</td><td>900人</td></tr> </table>	実施日	H31(2019). 2. 11 (月・祝)	会場	瀬戸市文化センター	参加者	46人	実施日	H31(2019). 2. 17 (日)	会場	瀬戸市文化センター	来場者	900人												
実施日	H31(2019). 2. 11 (月・祝)																								
会場	瀬戸市文化センター																								
参加者	46人																								
実施日	H31(2019). 2. 17 (日)																								
会場	瀬戸市文化センター																								
来場者	900人																								
<p>③⑤芸術系大学等との連携</p> <p>・「愛知県立芸術大学管弦楽団」第29回定期演奏会</p>	<table border="1"> <tr><td>開催日</td><td>H30(2018). 11. 30 (金)</td></tr> <tr><td>会場</td><td>県芸術劇場コンサートホール</td></tr> <tr><td>主な内容</td><td>指揮：尾高忠明 モーツァルトの交響曲第39番 等</td></tr> <tr><td>来場者</td><td>796人</td></tr> </table>	開催日	H30(2018). 11. 30 (金)	会場	県芸術劇場コンサートホール	主な内容	指揮：尾高忠明 モーツァルトの交響曲第39番 等	来場者	796人																
開催日	H30(2018). 11. 30 (金)																								
会場	県芸術劇場コンサートホール																								
主な内容	指揮：尾高忠明 モーツァルトの交響曲第39番 等																								
来場者	796人																								
<p>・関連講座『「バステアンとバステイエンヌ」を楽しむ』の開催</p>	<table border="1"> <tr><td>開催日</td><td>H30(2018). 10. 13 (土)</td></tr> <tr><td>会場</td><td>愛知芸術文化センターアートスペースA</td></tr> <tr><td>主な内容</td><td>オーケストラについてのお話し</td></tr> <tr><td>来場者</td><td>90人</td></tr> </table>	開催日	H30(2018). 10. 13 (土)	会場	愛知芸術文化センターアートスペースA	主な内容	オーケストラについてのお話し	来場者	90人																
開催日	H30(2018). 10. 13 (土)																								
会場	愛知芸術文化センターアートスペースA																								
主な内容	オーケストラについてのお話し																								
来場者	90人																								
<p>・あいちトリエンナーレ大学連携プロジェクト</p>	<p>・愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学の3大学合同展覧会「ユーモアの作用、あそびの効用、Humorous Behavior, Playful Action」</p> <table border="1"> <tr><td>会期</td><td>H31(2019). 2. 2 (土)～ 3. 24(日)</td></tr> <tr><td>会場</td><td>アートラボあいち3階展示室</td></tr> <tr><td>出展アーティスト</td><td>秋良 美有(県立芸術大学卒業生) 大久保 拓弥(名古屋芸術大学卒業生) 小杉 滋樹(名古屋造形大学卒業生)</td></tr> </table>	会期	H31(2019). 2. 2 (土)～ 3. 24(日)	会場	アートラボあいち3階展示室	出展アーティスト	秋良 美有(県立芸術大学卒業生) 大久保 拓弥(名古屋芸術大学卒業生) 小杉 滋樹(名古屋造形大学卒業生)																		
会期	H31(2019). 2. 2 (土)～ 3. 24(日)																								
会場	アートラボあいち3階展示室																								
出展アーティスト	秋良 美有(県立芸術大学卒業生) 大久保 拓弥(名古屋芸術大学卒業生) 小杉 滋樹(名古屋造形大学卒業生)																								
<p>③⑥文化施設間の連携</p> <p>・愛知県美術館と愛知県図書館との共同企画</p>	<p>愛知県美術館学芸員による連続講座「美術と文学」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 6. 22(金)</td> <td>レーピンと19世紀ロシアの作家たち</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 24(金)</td> <td>ムンクとイブセンの戯曲『幽霊』</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 10. 26(金)</td> <td>マルセル・デュシャンの図書館</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 12. 21(金)</td> <td>辻邦生とその周辺</td> <td>55人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	テーマ	参加者	H30(2018). 6. 22(金)	レーピンと19世紀ロシアの作家たち	40人	H30(2018). 8. 24(金)	ムンクとイブセンの戯曲『幽霊』	35人	H30(2018). 10. 26(金)	マルセル・デュシャンの図書館	51人	H30(2018). 12. 21(金)	辻邦生とその周辺	55人									
実施日	テーマ	参加者																							
H30(2018). 6. 22(金)	レーピンと19世紀ロシアの作家たち	40人																							
H30(2018). 8. 24(金)	ムンクとイブセンの戯曲『幽霊』	35人																							
H30(2018). 10. 26(金)	マルセル・デュシャンの図書館	51人																							
H30(2018). 12. 21(金)	辻邦生とその周辺	55人																							
<p>・『小さな島とエヴァ』県内巡回公演</p> 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公演日</th> <th>会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30(2018). 8. 8(水)</td> <td>幸田町民会館</td> <td>126人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 10(金)</td> <td>豊川市御津文化会館</td> <td>179人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 12(日)</td> <td>名古屋文理大学文化フォーラム</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 15(水)</td> <td>名古屋市千種文化小劇場</td> <td>207人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 17(金)</td> <td>碧南市芸術文化ホール</td> <td>177人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 19(日)</td> <td>小牧市東部市民センター</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>H30(2018). 8. 22(水)</td> <td>パティオ池鯉鮒</td> <td>162人</td> </tr> </tbody> </table>	公演日	会場	来場者数	H30(2018). 8. 8(水)	幸田町民会館	126人	H30(2018). 8. 10(金)	豊川市御津文化会館	179人	H30(2018). 8. 12(日)	名古屋文理大学文化フォーラム	93人	H30(2018). 8. 15(水)	名古屋市千種文化小劇場	207人	H30(2018). 8. 17(金)	碧南市芸術文化ホール	177人	H30(2018). 8. 19(日)	小牧市東部市民センター	172人	H30(2018). 8. 22(水)	パティオ池鯉鮒	162人
公演日	会場	来場者数																							
H30(2018). 8. 8(水)	幸田町民会館	126人																							
H30(2018). 8. 10(金)	豊川市御津文化会館	179人																							
H30(2018). 8. 12(日)	名古屋文理大学文化フォーラム	93人																							
H30(2018). 8. 15(水)	名古屋市千種文化小劇場	207人																							
H30(2018). 8. 17(金)	碧南市芸術文化ホール	177人																							
H30(2018). 8. 19(日)	小牧市東部市民センター	172人																							
H30(2018). 8. 22(水)	パティオ池鯉鮒	162人																							

取組内容	実績																							
・『寿歌 (ほぎうた)』巡回公演	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="774 250 1026 293">公演日</th> <th data-bbox="1026 250 1350 293">会場</th> <th data-bbox="1350 250 1436 293">来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="774 293 1026 358">H30(2018). 4. 28(土) 4. 30(月祝)</td> <td data-bbox="1026 293 1350 358">静岡県舞台芸術センター・舞台 芸術公園野外劇場「有度」</td> <td data-bbox="1350 293 1436 358">908 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 358 1026 423">H30(2018). 5. 18(金) 5. 19(土)</td> <td data-bbox="1026 358 1350 423">熊本県ながす未来館</td> <td data-bbox="1350 358 1436 423">234 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 423 1026 488">H30(2018). 5. 26(土) 5. 27(日)</td> <td data-bbox="1026 423 1350 488">北九州芸術劇場</td> <td data-bbox="1350 423 1436 488">192 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 488 1026 530">H30(2018). 6. 8(金)</td> <td data-bbox="1026 488 1350 530">ひたちなか市文化会館</td> <td data-bbox="1350 488 1436 530">328 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 530 1026 573">H30(2018). 6. 16(土)</td> <td data-bbox="1026 530 1350 573">パティオ池鯉鮒</td> <td data-bbox="1350 530 1436 573">115 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 573 1026 616">H30(2018). 6. 23(土)</td> <td data-bbox="1026 573 1350 616">小牧市市民会館</td> <td data-bbox="1350 573 1436 616">183 人</td> </tr> </tbody> </table>			公演日	会場	来場者数	H30(2018). 4. 28(土) 4. 30(月祝)	静岡県舞台芸術センター・舞台 芸術公園野外劇場「有度」	908 人	H30(2018). 5. 18(金) 5. 19(土)	熊本県ながす未来館	234 人	H30(2018). 5. 26(土) 5. 27(日)	北九州芸術劇場	192 人	H30(2018). 6. 8(金)	ひたちなか市文化会館	328 人	H30(2018). 6. 16(土)	パティオ池鯉鮒	115 人	H30(2018). 6. 23(土)	小牧市市民会館	183 人
公演日	会場	来場者数																						
H30(2018). 4. 28(土) 4. 30(月祝)	静岡県舞台芸術センター・舞台 芸術公園野外劇場「有度」	908 人																						
H30(2018). 5. 18(金) 5. 19(土)	熊本県ながす未来館	234 人																						
H30(2018). 5. 26(土) 5. 27(日)	北九州芸術劇場	192 人																						
H30(2018). 6. 8(金)	ひたちなか市文化会館	328 人																						
H30(2018). 6. 16(土)	パティオ池鯉鮒	115 人																						
H30(2018). 6. 23(土)	小牧市市民会館	183 人																						
⑩ボランティア活動の促進 ・あいちトリエンナーレ 2019 に向けたボランティアの募集	<table border="1"> <tbody> <tr> <td data-bbox="774 645 981 710">募集期間</td> <td colspan="2" data-bbox="981 645 1362 710">H30(2018). 11. 1(木)～ H31(2019). 1. 31(木)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 710 981 788" rowspan="2">募集人員・区分</td> <td data-bbox="981 710 1165 752">会場運営</td> <td data-bbox="1165 710 1362 752">1,100 人程度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="981 752 1165 788">ガイドツアー</td> <td data-bbox="1165 752 1362 788">100 人程度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="774 788 981 831">応募者数</td> <td colspan="2" data-bbox="981 788 1362 831">860 人</td> </tr> </tbody> </table>			募集期間	H30(2018). 11. 1(木)～ H31(2019). 1. 31(木)		募集人員・区分	会場運営	1,100 人程度	ガイドツアー	100 人程度	応募者数	860 人											
募集期間	H30(2018). 11. 1(木)～ H31(2019). 1. 31(木)																							
募集人員・区分	会場運営	1,100 人程度																						
	ガイドツアー	100 人程度																						
応募者数	860 人																							

数値目標の達成状況・評価

数値目標として設定した指標について、平成 30（2018）年度の達成状況・評価は以下のとおりです。

評価区分	目標達成状況（評価の目安）	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満

		指標	数値目標	策定時の実績	H30(2018)実績	評価
発信 世界・未来へ 「愛知発」の創造・	1	「あいちトリエンナーレ」来場者アンケートにおける満足度	開催年度に80%以上	80% (H28/2016)	—	—
	2	施設年間来館者数 (1)愛知芸術文化センター栄施設	毎年度 200 万人以上	185 万人 (H27/2015)	56 万人	—※
	3	施設年間来館者数 (2)県図書館	毎年度 55 万人以上	55 万人 (H29/2017)	53 万人	B
	4	施設年間来館者数 (3)県陶磁美術館	毎年度 10 万人以上	6.8 万人 (H29/2017)	7.3 万人	C
	5	県芸術劇場稼働率	毎年度 80%以上	83.3% (H27/2015)	89.2%	A
	6	アーツ・チャレンジの応募数	実施年度に90件以上	90 件 (H29/2017)	79 件	B
が できる 環境 の 整備	7	県芸術劇場主催のファミリー向け公演における新規来場者率	毎年度 30%以上	30.7% (H29/2017)	40.0%	A
	8	WEB サイトアクセス数 (1)愛知芸術文化センタートップページ	毎年度 200 万回以上	106 万回 (H27/2015)	425 万回	A
	9	WEB サイトアクセス数 (2)県図書館蔵書検索	毎年度 180 万回以上	178 万回 (H29/2017)	178 万回	B
	10	WEB サイトアクセス数 (3)生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページ	毎年度、前年度を上回る	11 万回 (H29/2017)	14 万回	A
	11	劇場と子ども 7 万人プロジェクトの賛同施設数	2023 年度までに 20 施設以上	1 施設 (H29/2017)	3 施設	—
シヤルを 活かした 地域力	12	県美術館と県陶磁美術館が実施する移動美術館、サテライト展示、県政お届け講座等の回数	毎年度 15 回以上	15 回 (H29/2017)	15 回	A
	13	愛知に誇ることのできる文化資源があると考える人の割合 (%)	2022 年度までに 60%以上	—	49.9%	—
	14	清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備	2020 年秋までに整備	—	—	—
	15	beyond2020 認証件数 (件/累計)	2020 年度までの累計 500 件以上	31 件 (H29/2017)	300 件 (累計)	—
16	文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数	2022 年度までに現在より増加	16 (H29/2017)	17	—	

※ 愛知芸術文化センター栄施設は、休館を伴う大規模な改修工事の実施により、来館者数に大きな影響が生じたため、評価不能とした。

1 「あいちトリエンナーレ」来場者アンケートにおける満足度

- ・平成30(2019)年度は、あいちトリエンナーレの開催年度ではなかったため、この指標における数値実績はない。

2 施設年間来館者数（愛知芸術文化センター栄施設）



- ・来館者数は、前年度と比較して、1,423,461人から558,077人となり、60.8%減となった。
- ・平成30(2018)年度は、休館を伴う改修工事のピークを迎え、年間を通して開館していたのは「小ホール」のみであったため、来館者数は大幅に減少することとなった。
- ・平成31(2019)年度は、全館リニューアルオープンを迎えたこともあり、また、「あいちトリエンナーレ2019」の開催年度でもあるため、来館者数200万人以上という目標達成を図りたい。

3 施設年間来館者数（県図書館）



- ・来館者数は、前年度と比較して、554,821人から529,750人となり、4.5%減となった。なお、開館日数については、前年度の282日から281日と、1日減であった。
- ・県図書館の来館者数については、パソコンやスマートフォンを利用したオンラインの蔵書検索システムの普及等に伴い、開館直後の平成4(1992)年度の1,076,000人をピークに、ほぼ一貫して漸減傾向にある。

- ・利用者ニーズに即した資料収集の重点化や、リニューアルしたエントランスを利用した自主企画事業の充実、学習スペースの提供といった利用者サービスの向上に努め、来館者数の確保に努めていく。

4 施設年間来館者数（県陶磁美術館）



- ・来館者数は、前年度と比較して、68,463人から73,444人となり、7.3%増となったものの、数値目標の10万人に対して達成率は73%となっており、厳しい状況が続いている。
- ・平成30（2018）年度は、陶磁美術館開館「40周年記念事業」を実施し集客に努め、展示事業の観覧者は増加に転じたが、陶芸館の利用者の減少傾向は続いている。特に、価値観の変化や趣味の多様化等に伴い、個人利用客の減少が大きくなっている。
- ・平成30（2018）年度に実施した「県政世論調査」の結果にもあるとおり、「県陶磁美術館の存在を知らなかった」という回答が54.6%となっているため、県陶磁美術館を知ってもらうとともに、是非足を運びたいと思っていただけるよう情報発信を強化していく。

5 県芸術劇場稼働率

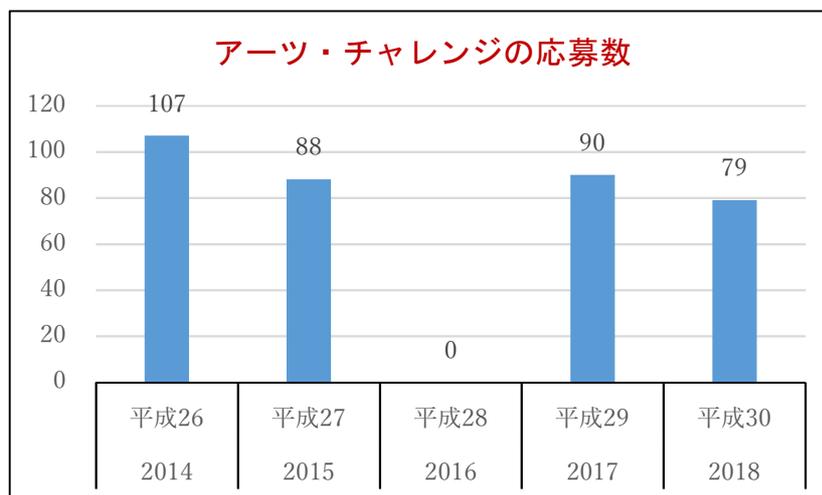


- ・県芸術劇場の稼働率は、前年度と比較して、86.0%から89.2%となり、3.2ポイント増となった。
- ・平成30（2018）年度は、愛知芸術文化センターの休館を伴う改修工事に伴い、「大ホール」は年間を通じて閉館であった。「コンサートホール」については、11月下旬から再開し、非常に多くの利用があり、利用率は99.0%であった。また、年間を通して利用可能であった「小ホール」については、

利用率 86.1%であり、80%を超える高い利用率を達成することができた。

- ・平成 31 (2019) 年度は、4 月下旬から「大ホール」の利用も再開し、平成 27 (2015) 年度以来 3 年ぶりに 3 つの専門ホールが全て利用可能となったため、リニューアル効果も活かして、80%以上の利用率を達成できるよう努める。

6 アーツ・チャレンジの応募数

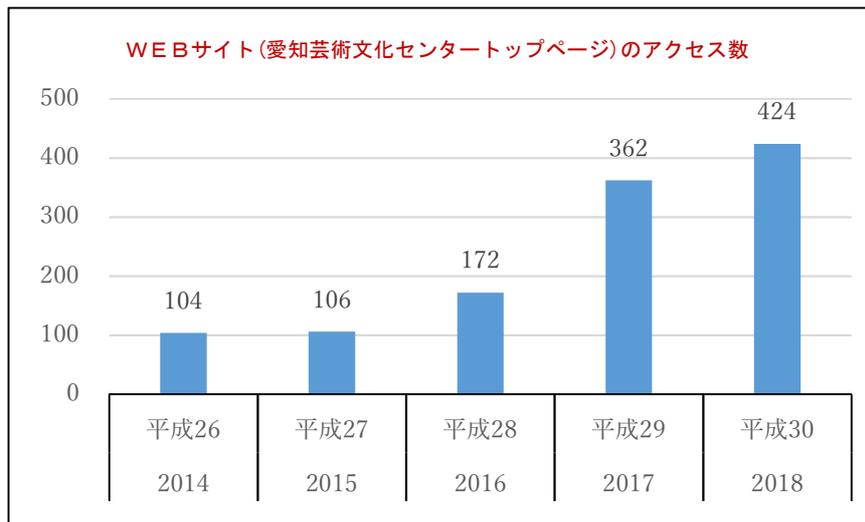


- ・アーツ・チャレンジの応募数は、前年度と比較して、90 件から 79 件となり、11 件減となった。数値目標の 90 件に対して、達成率は 88%であった。なお、募集期間については、前年度の 72 日間から 66 日間と、6 日間の減であった。
- ・平成 31 (2019) 年度は、「あいちトリエンナーレ 2019」の開催年であるためアーツ・チャレンジは開催しないが、開催年には、SNS 等での募集に関する広報を充実させるなど、90 件の応募数を達成できるよう努める。

7 県芸術劇場主催のファミリー向け公演における新規来場者率

- ・県芸術劇場主催のファミリー向け公演における新規来場者率は、前年度と比較して、30.7%から 40%となり、9.3 ポイント増となった。数値目標の「毎年度 30%以上」を達成することができた。
- ・平成 30 (2018) 年度は、県芸術劇場から名古屋市内の全小学校に案内チラシを送付するなどして事業の PR に努め、数値目標の「毎年度 30%以上」を達成することができた。
- ・平成 31 (2019) 年度以降も、教育機関を通じた PR など、事業の効果的な周知に努めて新規来場者率を維持しつつ、さらなるプログラムの充実により、幅広い世代が楽しめる魅力的な舞台芸術を提供し、舞台芸術に親しむ客層の拡大を図る必要がある。

8 WEBサイトアクセス数（愛知芸術文化センタートップページ）



- ・愛知芸術文化センタートップページのアクセス数は、前年度と比較して、362万回から425万回となり、63万回増となった。数値目標の「毎年度200万回以上」を大きく上回り達成することができた。
- ・平成28（2016）年8月に無料のWi-Fiを整備し、利用者の利便性が向上したことにより、アクセス数が増加している。
- ・今後も引き続きコンテンツの魅力向上を図り、ページ全体のアクセス数増加に努める。

9 WEBサイトアクセス数（県図書館蔵書検索）



※平成30（2018）年度から、スマートフォンや携帯端末からのアクセス数を含む

- ・県図書館蔵書検索のアクセス数は、前年度と同数の178万回となった。数値目標の「毎年度180万回以上」に対して、達成率は99%であり、若干下回る結果となった。
- ・PCからのアクセス数は、1,774,166回から1,663,117回となり、6.3%減となった。一方、スマートフォンからのアクセス数は、68,310回から88,434回となり、30%増となっている。
- ・スマートフォンの普及に伴う個人ユーザーの情報環境の変化等も踏まえ、魅力ある蔵書を構築し、蔵書検索のアクセス数を増加させていく。

10 WEBサイトアクセス数（生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページ）



- ・「学びネットあいち」トップページのアクセス数は、前年度と比較して、111,801回から142,405回となり、30,604回増となった。数値目標の「毎年度、前年度を上回る」を達成することができた。
- ・平成30（2019）年度は、情報提供機関を新たに19機関増加するなど、学習情報の充実に努めた。
- ・今後も引き続き、県民の高度かつ多様化する学習ニーズに対応するため、魅力的な学習情報を提供し、数値目標を達成していきたい。

11 劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設数

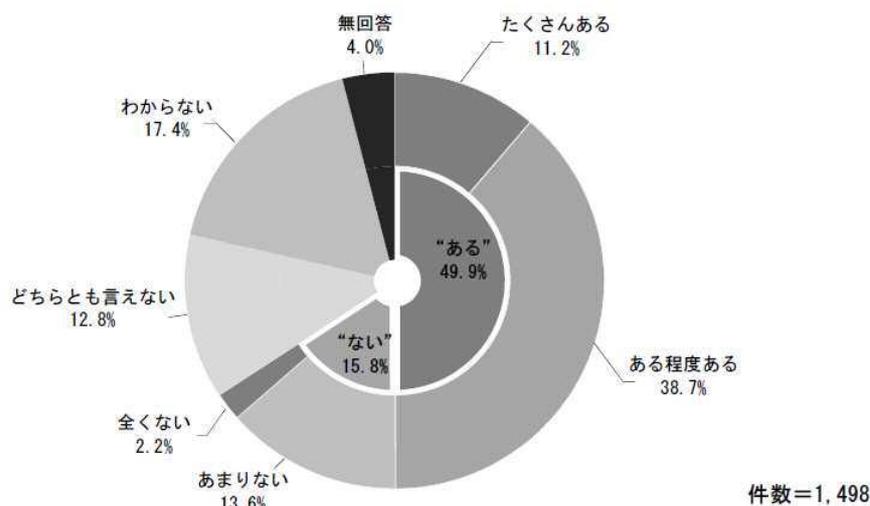
- ・劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設数は、前年度の1施設から3施設となり、2施設増となった。
- ・平成30（2018）年度は、県内の劇場に対して当プロジェクトへの正式な賛同要請を行っていないため、県芸術劇場と市町村劇場の共催による学校招待公演を実施した3施設のみとなっている。
- ・数値目標である「2023年度までの20施設以上」の達成を目指し、引き続き、県芸術劇場と市町村劇場の共催公演を継続するとともに、今後は、県芸術劇場と共催して実施した市町村劇場に対し、引き続き劇場単独で学校招待公演を開催するよう要請する。また、既に単独で学校招待公演を実施する劇場についても、正式に当プロジェクトへ賛同してもらえるよう働きかけを行っていく。

12 県美術館と県陶磁美術館が実施する移動美術館、サテライト展示、県政お届け講座等の回数



- ・移動美術館、サテライト展示、県政お届け講座等の回数は、前年度と同数の15回であった。数値目標の「毎年度15回以上」に対して、達成率は100%であった。
- ・平成30(2018)年度は、県美術館の休館に伴い移動美術館は実施できなかったが、サテライト展示の実施を増やし、県民の鑑賞機会の充実に努めた。
- ・県広報広聴課が受付窓口となっている「県政お届け講座」について、県陶磁美術館の実施はあったが、県美術館の実施がなかったため、実施依頼がくるよう各館の魅力向上とPRに努める。
- ・県陶磁美術館は、ワークショップ等アウトリーチ活動を積極的に実施しており、引き続き、館外における教育普及事業の充実に努めていく。

13 愛知に誇ることのできる文化資源があると思う人の割合 (%)



- ・平成30(2018)年度に実施した「県政世論調査」において、「愛知に誇ることのできる文化資源があると思う人の割合」を調査した結果、「ある」と回答した人の割合は49.9%であった。
- ・60歳代より上の世代は「ある」と回答した人が50%以上のところ、20歳代、30歳代は約45%と低くなっている。特に、若い世代が「愛知に誇ることのできる文化資源がある」と考えてもらえるよう、愛知芸術文化センターを始めとした文化施設、あいちトリエンナーレを始めとした文化イベント、また、伝統芸能や文化財、アニメーションや食文化といった本県が誇る文化資源を活かした地域力の向上に努めていく必要がある。

14 清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備

- ・東海地方最大の弥生集落である朝日遺跡の魅力を発信する「清洲貝殻山貝塚資料館」の拡充整備については、新資料館の建設工事、展示物の製作、史跡の整備を進めた。
- ・令和元(2019)年度については、目標である2020年秋までのオープンを目指して、引き続き建設工事等を着実に推進していく。

15 beyond2020 認証件数（件/累計）

- beyond2020 認証件数は、平成 30（2018）年度に 269 件の認証を行い、累計の認証件数は 300 件となった。
- beyond2020 プログラムについては、平成 29（2017）年 10 月から認証組織となって認証事務を開始した。
- 平成 30（2018）年度は、beyond2020 プログラムの認知度を高めるために積極的な広報活動を行い、日本文化の魅力を発信するとともに、多様性・国際性に配慮した多様な文化イベントの認証を行った。
- 数値目標である「2020 年度までの累計 500 件以上」の達成を目指し、引き続き、beyond2020 プログラムの浸透を図るとともに、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に資する文化イベントの認証を進めていく。

16 文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数

- 県内 54 市町村のうち、文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数については、前年度と比較して、16 市町から 17 市町となり、1 市町増となった。
- 数値目標の「2022 年度までに現在より増加」については達成したこととなったが、引き続き文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数が増えるよう、県内市町村への啓発活動や情報提供に努めていく必要がある。

◆基本目標1 世界・未来へ“愛知発”の創造・発信

世界・未来へ向けて“愛知発”の文化芸術を創造・発信し、愛知の文化芸術のアイデンティティを確立するため、71事業を実施した。数値目標に掲げた指標については、A評価が1指標、B評価が2指標、C評価が1指標であった。

県芸術劇術（公財）愛知県文化振興事業団が主催する公演事業等、「愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開」に関する事業については、予定を上回る効果を得られた事業も多く、着実に進捗している。「世界に創造・発信する愛知からの文化芸術」に関する事業は、予定どおりに進捗した事業が多く、概ね順調であった。

今後の課題としては、平成30（2018）年度に全館リニューアルオープンした愛知芸術文化センターについて、本県の文化芸術の拠点として、多くの来訪者に来ていただけるよう文化情報の発信や多様な鑑賞機会の提供を図っていく必要がある。また、愛知から世界へ文化芸術を創造・発信する中心的な事業である「あいちトリエンナーレ」を継続的に開催するとともに、国際的なパートナーシップの構築やネットワークの強化を図っていく必要がある。

◆基本目標2 県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備

県民がその年齢、障害の有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができる環境を整備するため、57事業を実施した。数値目標に掲げた指標については、A評価が4指標、B評価が1指標であった。

「子どもの文化芸術活動の充実」や「障害者の文化芸術活動の充実」に関する事業等、全体的に、実施した事業の多くが、概ね順調に進捗している。

今後の課題としては、県美術館や県陶磁美術館における障害者を対象とした美術鑑賞プログラムを充実させるとともに、生の文化芸術を体験してもらうアウトリーチ活動を促進し、県民の鑑賞機会の拡大を図っていく必要がある。

◆基本目標3 愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上

愛知の文化芸術のポテンシャルを最大限に活かし、様々な分野と連携・協働することで、地域力の向上を図るため、108事業を実施した。なお、数値目標に掲げた4指標については、目標年度に至っていない。

産業や国際交流等「様々な分野との連携」に関する事業を始め、全体的に、実施した事業の多くが、概ね順調に進捗している。

今後の課題としては、様々な分野や主体との連携・協働の更なる推進を図るため、民間事業者と連携した事業の実施や、県内の市町村劇場等と連携した事業の拡大、文化施設間の連携の強化を図る必要がある。

◆事業成果の評価・検証について

- ・評価基準、評価方法についての判断基準が曖昧であり、評価・検証の方法を再検討する必要がある。自己評価について、事業担当課室の評価のみで点数化するという手法は、見直しの余地がある。
- ・文化芸術の分野については、定性評価の取扱いについて明確な基準がないので、評価は非常に難しい。この分野においては、評価について、行政としての平等性や公平性を必ずしも担保する必要はない。
- ・理想としては、県が評価について独自の専門的な協議体を組織して、数字に左右されない評価をしっかりとまとめられるのがよい。
- ・有識者についても、学識経験者にとらわれることなく、文化芸術に造詣が深い民間企業のトップリーダーの意見を聞くことも重要である。経済界の人のほうが、社会との繋がりがあり、一般市民と同じ目線に立っている。また、文化芸術に触れる機会も多いため、貴重な意見を聞くことができる。
- ・愛知県の文化振興の中核となる事業について、予算の推移等が資料として掲載してあると評価の参考となる。

◆主な施策の実施状況について

- ・基本課題の一つである「世界に創造・発信する愛知からの文化芸術」について、主な施策や事業数が少ないところからみても愛知県としてまだ弱い部分なので、強化できるとよい。
- ・美術館や博物館は、学芸員や研究者が中心となって運営されている。作品や資料を収集して、適切に保存・管理していくことは重要であるが、収集した作品や資料を効果的に活用して、県民、市民に広げていくことが大切である。
- ・県美術館におけるパブリックドメイン作品の公開は、全国に先駆けた画期的な取組であり、評価できる。
- ・愛知県は農業県であり、文化芸術基本法においても食文化の振興が明記されたところである。食文化に関する取組が若干弱い印象を受けるので、食というのは愛知の文化であるという意識をもってもらえるような取組を進めてもらいたい。
- ・県芸術劇場では「舞台芸術人材養成ラボ」等の人材育成事業を実施しているが、受講生のその後の活動をしっかりフォローするとともに、彼等が市町の劇場等でも研修の成果をいかして活躍できるように繋いでいくことが大切である。
- ・芸術系大学等との連携について、大学は教育、研究、地域貢献という3本柱を中心に活動するので、この大学のミッションと上手に繋がる取組が必要となる。特に、大学がもつ研究機能との繋がりを強化できるとよい。社会とアートを繋ぐ研究が少ないので、大学にとっても、研究とアートの現場とが繋がることは重要である。

◆数値目標の達成状況・評価について

- ・「世界・未来へ“愛知発”の創造・発信」という基本目標の達成度を図る視点からすると、「あいちトリエンナーレ」来場者アンケートにおける満足度については、どのような来場者が満足したのかということが重要になってくる。来場者の平均値というよりは、どのような来場者に満足してもらいたいのかという視点を加えたほうがよい。

- ・愛知芸術文化センター栄施設の来館者数について、創造・発信という観点からは、新規の来場者がどれだけいるかという数値も大切である。
- ・県図書館、県陶磁美術館の来館者数の増加に努めてもらいたい。県図書館における1階エントランス Yotteko（ヨッテコ）を利用した取組は評価できる。図書館も、必ずしも静かな場所でなければいけないというものではない。県民、市民の目線に立って、気軽に訪れることができる雰囲気づくりは大切である。
- ・県図書館について、県民全体の知的水準の向上に資するためにも、司書による研究サポートの強化が必要である。例えば、大学生の卒業論文執筆のための調査・研究等について、司書によるサポートを期待したい。
- ・愛知県は陶磁器産業が盛んな地域である。県陶磁美術館を通じて陶磁器の文化的価値を国際的に発信し、地場の陶磁器産業のブランド価値向上に資することができるとうい。
- ・「県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備」という基本目標を達成するには、県が主催する事業のみでは無理であり、市町村の取組が重要になってくる。県と市町村との連携を強化し、市町村の取組だけでは不足する部分を県が後押ししていくような連携が必要である。
- ・「県芸術劇場主催のファミリー向け公演における新規来場者率」が40.0%と非常に高い実績となっている。集客力、吸引力のある作品を公演しているのであれば、自主制作をすることが困難な他の市町の劇場等にも展開できるとよい。
- ・「劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設数」が少ないので、目標達成に向けて、しっかりとした計画をもって取組を進めてもらいたい。
- ・愛知県には、誇るべき文化資源が非常にたくさんあるので、その掘り起こしを積極的に行い、県民への浸透を図ってもらいたい。